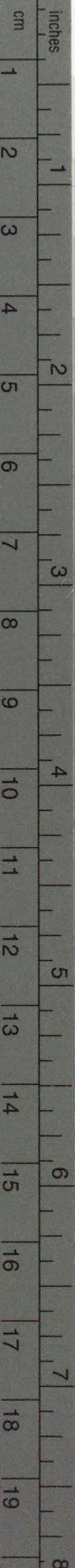


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

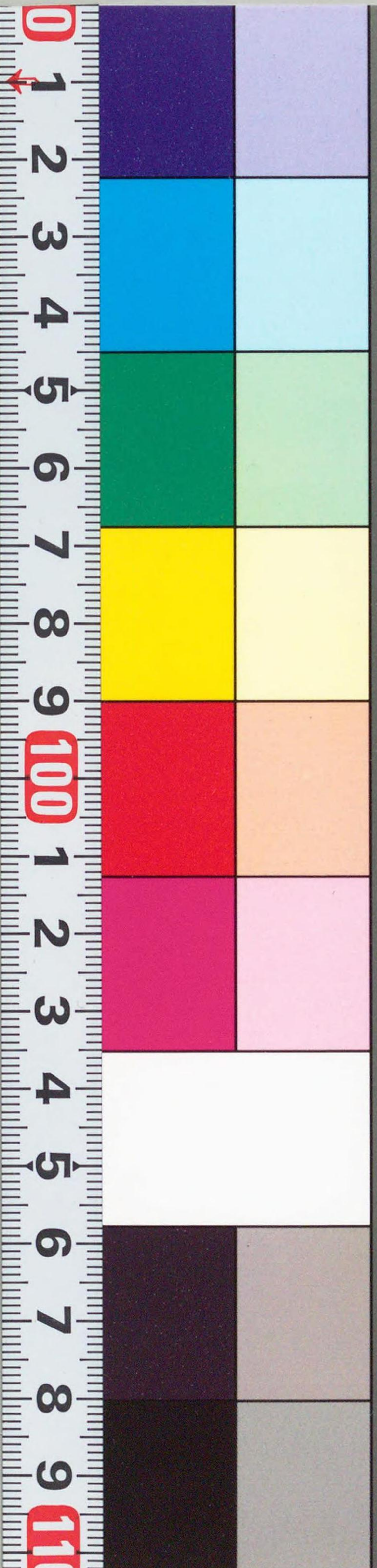
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



0310
33

議院公報附録
査資料第十八輯

昭和十三年六月

BZ-8-3



1200500825321

生産力擴充に関する資料目錄

(二)

衆議院調查部

BZ
8
3

序言

一、本目録は本年一月發行した調査資料第七輯生産力擴充に關する資料目録の續きである。
二、資料は大體本年一月から五月迄の間の刊行物を原則とした。



I種
W



1200500825321

一、資料が大體本平一頁と正且この間の肝心な事項を制限しては、
二、本目錄が本平一頁を越すことは調査資料の整理と並んで調査に關する資料目錄の整理に於ける。

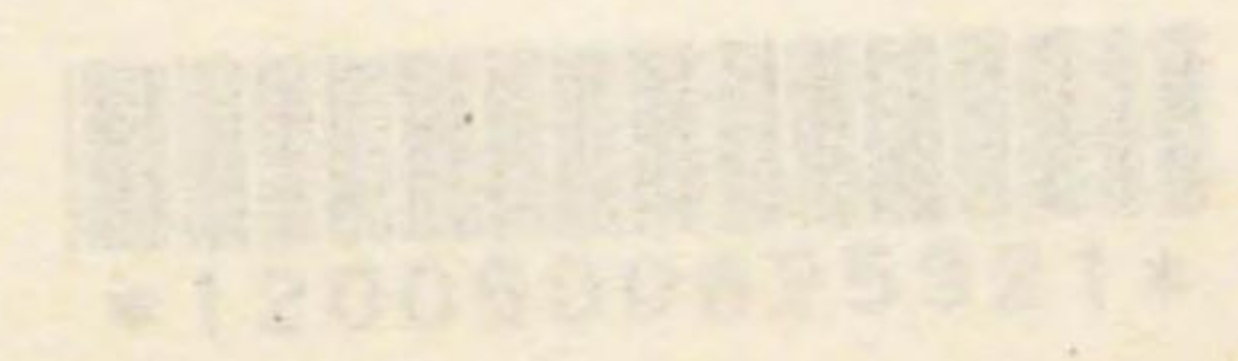
前言

生産力擴充に關する資料目錄 (二)

目次

第一部 生産力擴充一般に關するもの	一
一、生産力擴充に關係ある經濟論說	一
二、金融關係	三一
三、資源關係	四四
四、貿易關係	五〇
五、物價關係	六二
第二部 各部門に關するもの	七四
一、鑛物關係	七四
二、燃料關係	八一
三、纖維工業關係	八六
四、食糧關係	九六

目次



五、機械・化學工業關係……………一〇〇

六、其他……………一〇八

(附録)

一、關係法令……………一七八

二、各部門に關するもの

五、礦業……………一四

四、貿易……………五〇

三、資源……………四四

二、金融……………三一

一、生産力擴充に關する經濟論說……………一

第一階 生産力擴充一般に關するもの

目次

生産力擴充に關する資料目録 (二)



第一部 生産力擴充一般に關するもの

一、生産力擴充に關係ある經濟論說

題名、件名又は書名

河北農業經濟の概況

北滿農業の特質

北支の採るべき工業政策

ソ聯計畫經濟の全貌

ソ聯の北氷洋開發とその産業上及戰略的意義

ドイツ經濟の現状

ドイツ最近の經濟狀勢

ドイツに於る統制經濟の行方

ドイツ商工經濟の構成

伊太利の蠶絲業保護政策

最近十年間に於ける伊太利生産團體の活動

生産力擴充に關係ある經濟論說

筆 著 者 名

中西 喜 功

五十子 卷 三

山崎 靖 純

E・ヴァアルガ

渡邊 鐵 藏

フオーレン・アフエ

アイズ誌より欄

白 杉 三 郎

布谷 芳 太 郎

渡邊 轄 二

發行所又は誌名

滿鐵調査月報

村

科學主義工業

財政經濟時報

滿鐵調査月報

〃

實業之日本

東洋經濟

國業聯合報

蠶絲界報

農業と經濟

發行年月日卷號

一月號

〃

〃

〃

一月一日號

〃

〃

一月二十九日號二二

一月號

〃

〃

英國に於ける戰時經濟總動員
經濟的に見たる南洋と我が南方經濟

北支經濟開發を繞る相剋

戰時に於ける生産力跛行の實情

輕視出來ぬ軍需生産力の支障

日本戰時經濟の方向

日本戰時經濟の發展性

長期戰と國民經濟機構

對支經濟工作の焦點

支那の開發と我國内産業の關係

戰時經濟の效果本格的の發現

計畫經濟への前進

北支經營の根本策

北支開發の根本策

内外商工時報 一月號

經濟研究 //

產業組合時報 //

エコノミスト 十二年十二月二二日號

日本經濟 //

日本戰時經濟 一月一日號

戰時經濟 //

對支經濟 //

支那の開發 //

戰時經濟の效果 新年特大號

計畫經濟 //

北支經營の根本策 一月一日號

北支開發の根本策 //

獨善的統制は寧ろ有害

經濟計畫及消費統制の前進

滿支開發が部分的好況を招かん

北支經濟建設の基本問題
如何にして北支で經濟發展すべきか

北支經濟開發の具體策

時變下の産業對策

戰時經濟下に於ける消費統制の發展

戰時體制下に於ける統制經濟

戰時經濟方策について

今後の對支經濟國策

國防經濟と燃料政策

北支經濟開發問題

日滿支經濟統制に就て

大陸政策の結實を見る

河田 嗣 郎 ダイヤモンド 一月一日號

金原 賢之助 東洋經濟 新年特大號

正井 敬次 東洋經濟 //

主 張 欄 エコノミスト 一月一日號

藤 井 滿 彦 //

松崎 雄二郎 //

問題と對策欄 地方行政 一月號

田 中 幸 雄 商工經濟 //

木暮 武太夫 財政經濟時報 //

賀 屋 興 宣 財政經濟時報 //

吉 田 敬 治 改 造 //

小 穴 毅 商工經濟 //

内 田 勝 司 //

大 藏 公 望 //

歴史に現はれたる戦争と經濟

北支經濟開發と株式界の動向

北支那經營策

生産擴充と産業金融

軍需インフレの深化

軍需産業は一段と活況

平和産業は隱忍時代

國産愛用と國産振興

戦時農村經濟と産業組合

戦時農政の二試案

戦後の農村對策

農業政策は如何に積極的に前進すべきか

農業保險と農業政策の根本方針

農村生産力の確保と増進

産業五ヶ年計畫と農業政策

本位田祥男 日本評論 一月號

佐々木義夫 科學主義工業

越智元治 財工政

色部貢 經濟研究

吉田 經濟マガジン

寶星 經濟マガジン

木暮 經濟マガジン

商中 工業

高須 農業と經濟

瀧澤 米穀日本

三輪 米穀日本

大槻 農業と經濟

千石 産業組合時報

小島 帝國農會報

日滿産業五ヶ年計畫と農業政策

農地自治管理論

對支農村工作の基調

日清戦争を繞る農業事情

農村工業の概要

非常時局に對處する軍需産業と農村の動向

地方産業振興に就て

農業生産力の維持

滿洲農業移民と産業組合

戦時に於ける販賣組合の活動

時局と組合金融の擴大

銃後の農村と協同組合

農村振興策の協同組合運動への移行と新春への期待

新擴充計畫遂行の要諦

最近歐洲産業組合の概観

八木芳之助 經濟論叢 一月一日號

橋本傳右エ門 農業と經濟 一月號

前田福太郎 農政研究

經濟更生部 農政研究

水口幾壽 農村研究

關口八重吉 農業組合

千石興太郎 産業組合

安達 産業組合

土屋光豊 農業と經濟

石黒忠篤 市信月報

本位田祥男 農業と經濟

山根讓 産業組合

千石興太郎 産業組合

窪田角一 財政

事變下に於ける農村の行くべき道

濱田道之助 米穀 日本 一月號

時局と農村問題

小出滿三 産業と教育 //

事變下の農村對策

仲原善一 農業及園藝 //

戰時經濟下の農村問題

喜多正治 文化農報 //

時局と農業勞働力

丹羽四郎 //

銃後の農村問題に對する一考察

赤司茂 産業組合時報 //

農業勞働力の不足と其の將來

島田日出夫 米穀 日本 //

日本の黎明と農村問題

平野力三 //

農村戰後對策の重點

竹山祐太郎 農政研究 //

山村更生と産業組合

新田功 産業組合 //

漁村の銃後施設はどうなつてゐる

六郷寛 水産公論 //

戰爭と馬産

村上龍太郎 文化農報 //

我國畜産馬の現状

須崎進二 農業と經濟 //

事變下の水産業

小西和 水産公論 //

日清戰時の農業政策

我妻東策 産國農會報 二月號

日露戰時の農業政策

奥谷松治 産業組合時報 二月號

水産振興の黎明期

藤田經信 水産公論 一月號

北支に於ける水産業の現況と水産製造事業の發展策

木村金太郎 科學主義工業 //

戰時財政下の水産豫算

城有作 水産公論 //

漁業自營の基礎づけ

坂村吉正 //

北千島合同の國策的意義

酒井讓 //

事變統制經濟と林業及木材政策

蘭部一郎 山林 六六一號

時局と木材界

渡邊全 //

轉換期に於ける林政問題

小畑大太郎 //

木材輸出振興の根本策

奥野道夫 木材 七卷十二號

時局と中小商業對策

新倉利廣 産業能率 一月號

時局の重要性と商業組合の任務

稻川宮雄 //

時難に耐へる中小商工業

水野利人 實業之日本 一月號

小賣商の重要性と支那で有望な商賣

水野利人 實業之日本 一月號

統制政策で制限

水野利人 實業之日本 一月號

事變下の産業對策	田尻常雄	地方行政	二月號
事變と經濟問題	金原賢之助	産業と教育	〃
戰時經濟と輸出維持	木村増太郎	經濟情報	二月二日號
事變と經濟界	丸川賢太郎	商店界	二月臨時號
事變の影響と我が戰時經濟の動向	菱川健三	文藝春秋	二月號
近代戰爭に於ける日本經濟の特質	社論	政經時潮	〃
戰費負擔能力確認の必要	金原賢之助	東洋經濟	二月五日號
四十五億の事變費と經濟界への影響	門野重九郎	經濟研究	二月號
財界は長期戰時體制へ	色川俊次郎	實業の日本	二月一日號
對支根本策を確立し北支開發が急務	平尾彌五郎	經濟市場	二月號
北支資源の開發我國に課せられた一大問題	田島房太郎	國際知識	〃
對支經濟工作の一考察	太田正孝	ダイヤモンド	二月一日號
北支への經濟進出			二月一日號
經濟工作の對象としての南北支那			二月一日號

我が對支政策の一端	木村増太郎	外交時報	二月一五號
我が大陸經營觀	鮎川義介	實業之日本	〃
滿洲産業開發の現段階	岸信介	交通評論	二月號
日滿支ブロック論	勝田貞次	科學主義工業	〃
日滿支經濟の結合政策	山崎靖純	財政學	〃
日滿支經濟と北支の産業政策	木村増太郎	實業	〃
日滿支ブロック經濟と持株會社	江口行雄	實業	〃
日滿支の經濟及結合政策	山崎靖純	實業	〃
我等は如何にして經濟的に戰ひ得るか	栗津清亮	經濟市場	〃
時局の多様性と日本の實力	森本團民	蠶糸界報	〃
對外經濟發展の具體策	金澤尚	エコノミスト	二月一日號
跛行性の目立つて來た經濟諸指標		東洋經濟	二月一九號
明年度主要農村政策		地方行政	二月號
重大使命を認識し農業國策に順應せよ	小濱八彌	農政研究	〃
日本農業の現状と農調法		ダイヤモンド	二月一日號

昭和十二年度經濟更生計畫の概要

非常時農村對策と郷會

農村戰時對策と産組運動

農村生産力の維持

增收せる農家の所得

戰時體制下に於ける農業經營

生産力擴充の立場から

朝鮮農地令と耕作分散の諸問題

不良土の改良と移住部落の設定

産業組合運動の新展開

農村戰時對策と産組運動

産業組合を中心とする農林省の方針

戰時體制下の農村と産業組合

戰時體制下の農村問題

戰時體制下の日本

田村八浩

千石興太郎

岡田温

前川正一

久間健一

藤原綱太郎

四宮恭二

山田恭二

宮部一郎

丸山幹治

三浦一雄

農政研究

米穀日本

産業組合時報

農政研究

國勢グラフ

帝國農會報

農政研究

農業と經濟

農業

産業組合

産業組合時報

實益農業

農業と經濟

農政研究

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

二月號

戰爭と農村

銃後と農山漁村の經濟更生策

銃後農山漁村の更生策

農山漁村經濟更生計畫の經過概要

農山漁村の經濟更生活上探るべき方針

戰時社會經濟と漁村民

時局と漁村青年の組織

第三期に入つた北海道漁組運動

應召漁家に對する授産及扶助事業狀況

我國農村問題と滿洲移民

有畜農業經營の管見

露領漁業の沿革と現況

漁業移民方策

海洋漁業の振興を策すべし

木村莊太

古瀬傳藏

經濟更生部

經濟更生部

西村彰一

小石季一

安藤孝俊

大藏公望

柏原言三

竹内浩吉

高山伊太郎

大谷尊由

米穀日本

農政研究

地方行政

農政研究

産業組合時報

漁業組合村

水産界

水産界

産業と教育

農業

水産界

南洋水産

南洋水産

生産をめぐる漁業問題	星 谷 四 郎	漁業	二月號
生産統制と金融	宮城雄太郎	水産公論	〃
漁業組合共販計畫に關する一考案	長谷川秀雄	〃	〃
漁業自營の必要條件	坂村吉正	〃	〃
中小商業と戰時體制	谷口吉彦	商工經濟	〃
對時經濟と中小企業	〃	〃	〃
戰時戰後の經營をどうするか	津田信吾	經濟マガジン	〃
統制の強化と其の弊害	〃	經濟展望	〃
軍需工業政策概論	長谷川基	科學主義工業	〃
軍需工業を中心とする商工省の方針	〃	産業組合時報	〃
大陸重工業の建設と内地產業界	〃	日本重工業	〃
我が對外經濟發展の具體策	金 澤 圭 尚	エコノミスト	二月一日號
國防四ヶ年計畫とは何ぞ	〃	實業之日本	二月一五日號
軍擴の負擔と影響	〃	ダイヤモンド	二月二一日號
大陸經營と平和產業	〃	經濟展望	二月號

目的に反する統制	齊 藤 武 雄	東洋經濟	二月一五日號
對外發展の具體案	松 田 慎 三	エコノミスト	二月二一日號
米國に於ける日貨排斥運動	〃	東洋經濟	二月二一日號
北支に於ける電力事業の現況	八 木 常 三 郎	經濟展望	二月號
生産力の擴充と港灣機能の高率化	上 野	港灣	〃
滿洲五ヶ年計畫の實踐	鈴木小兵衛	滿洲評論	三月號
滿洲産業開發五ヶ年計畫の修正と北支經濟開發計畫の樹立	田 沼 征	東亞商工經濟	〃
北滿洲に於ける土地配分	鈴木小兵衛	滿鐵調査月報	三月一日號
滿洲五ヶ年計畫修正	田 沼 征	エコノミスト	三月一日號
滿洲重工業と外資	小林幾次郎	財政經濟時報	三月號
北支に於ける金融工作の進展	吉 田 虎 雄	財政經濟時報	三月號
北支關稅改正に就いて	〃	外交時報	三月一五日號
北支の農村更生と農業政策	〃	産業組合時報	三月號
日支事變下の北支農村問題	中 西 功	滿洲評論	〃
北支經濟綜觀	滿鐵産業部	滿鐵調査月報	〃

中支經濟復興開發の要望

中支經濟開發の方向

大陸政策下の北支内蒙經濟

支那經濟の三斷層

ナチス獨逸の農業革新大觀

英國最近の經濟動向

イギリスの戰時財源

北支經濟の展望

北支經濟建設のニユース

一九三七年度の獨伊經濟概觀

獨伊の經濟狀態

大戰後に於ける獨逸鐵鋼カルテルの發展

獨逸機械工業に於けるカルテル的經營合理化

獨逸の軍擴張調と財界の好調

日ソの危機とソ聯の戰時經濟力

國際知識及評論 三月號

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

ナチス經濟統制の全貌

北支經濟開發の私案

國策線上の日本統制經濟

中支經濟開發の方向

滿洲國資源開發と我國産業の發展性

我國の富力と戰争力

戰時經濟に轉換せる十二年度の日本經濟

戰時經濟と配給機構

戰時經濟體制の實相と歸趨

長期戰と全經濟力の動員

支那事變と我國の産業

時局と經濟問題

戰時經濟と日滿貿易政策の歸趨

全體戰争財政論

對支經濟工作の前進

財政經濟時報 〃

ダイヤモンド 三月一日號

財政經濟時報 三月號

東洋經濟 三月一二日號

交通評論 三月號

實業之日本 〃

滿鐵調查月報 〃

日本重工業 〃

日本重工業 〃

自本重工業 〃

經濟發展展望 〃

産業と教育 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

計畫經濟と制度の改革問題

時局金融と生産力擴張

生産力擴充と人間活動の推進力

新日本の産業と勞働

國家總動員法を繞る實際諸問題

日本の産業と東洋に於ける國際情勢

朝鮮の時局産業發展工作

滿洲國資源開發と我國産業の發展性

滿洲國開發計畫の修正

支那の經濟工作をどうするか

北支經濟開發の方針

時局と農業生産力

戰時農政の展望、長期戰下の農政策

農村更生と分村計畫

農家經營計畫化—自作農没落の原因—

産業組合時報 三月號

一橋論叢 //

科學主義工業 //

財政經濟時報 //

科學主義工業 //

日本重工業 //

交通評論 //

日本重工業 //

經濟マガジン //

日本重工業 //

文化農報 //

農業と經濟 //

産業組合時報 //

勞力、畜力を中心とせる北滿の農業經營について

我國農村の現状とこれが善後策

國家總動員法案と農村

國民體位の向上と農民救済の二提唱

中小商工業者層の救済問題

工業組合の時局的使命

如何に處すべきか日ソ漁業問題

日ソ漁業條約の正式締結を急げ

三度延期された漁業條約

水産業の對支發展策

時局へ順應する水産業

國民精神總動員と水産業

中小商工業と事變の影響

時局と工業の動向

資本主義工業と科學主義工業

生産力擴充に關係ある經濟論說

吳振輝 滿鐵調查月報 //

川上啓太郎 經濟市場 //

島田普作 帝國農會報 //

吉植庄亮 農政研究 //

辻誠 財政經濟時報 //

小島精一 日本重工業 //

田中丸祐厚 水產公論 //

相澤周介 經濟展望 //

小西和 水產公論 //

伊曾武平 //

木戸幸一 水產界 //

齊藤明親 産業と教育 //

大河内正俊 科學主義工業 //

本邦に於ける家内工業の現状と其の新生面

工業生産と内容變化

企業の機關性

國家管理實現後の電力會社收益狀態の變化

我國及列強の電力管理

我國主要電氣企業に於ける勞務管理事情

北九州地方工業用水事業に就て

回復せんとする北支産業

北支産業の開發計畫

北支將來の産業地帯

北支開發と兩國策會社

中支占領地區の農業及工業

北支經濟開發と電氣事業の進出

滿洲經營の基礎分析

産業開發五ヶ年計畫初年度の滿洲貿易

伊東内俊雄 工學主論 工政 三月號

本位田祥男 エコノミスト 日本評論 三月一日號

出弟二郎 經濟研究 三月號

楠原祖一郎 財政 三月號

坂本一平 産業福利 三月號

田中武 工務 三月號

大野萬夫 エコノミスト 四月一日號

山住克己 經濟情報 四月號

吉村克己 財政局 四月號

永松利熊 滿鐵調查月報 四月一日號

川上泰 經濟市場 四月一日號

東洋經濟 四月二日號

松山茂二郎 日本評論 四月號

轉換期のソ聯邦經濟

ソヴェートの産業と幣制の現況

農山漁村經濟更生施設の經過概要

第七回及第八回農村經濟更生中央委員會經過概要

米穀配給組織の變遷

農業に於ける消費者統制の進化

生産部面に於ける農業團體の交錯

日滿支の農業統制策私見

ナチス獨逸の農業革新大觀

肥料配給と自由統制對立

戰後經營と農村問題

日滿の農業結合策

農村の戰時保護體制

農業に於ける生産要素と資本の概念

滿洲農業移民の現状

桐生悠々 有畜農業 三月號

木村善昇 實益農業 三月號

山崎靖純 評早稲會論 三月號

石川準十郎 産業組合時報 三月號

山元百千穂 朝鮮公論 三月號

末次虎太郎 實益農業 三月號

山崎田靖純 農業と機械 三月號

大槻正男 東洋經濟 時局倍大號

安部誠一郎 農業經濟研究 四月號

農業保險と米穀問題

事變下の農林行政一斑

電力による農業の機械化

東北畑作の生きる途

第七十三回議會農業關係諸法案

農業保險制度の概要

戰時議會下の肥料問題

戰時體制下に於ける肥料問題

銃後に於ける肥料政策に就いて

勞力畜産力を中心とする北滿の農業經營に就て

邦人移民農家の經營事例

邦人の農業經營事例

有蓄農業の經營管見

肥料調整協議會の狀況

肥料問題に就て

吉植庄亮

産業組合時報

四月號

周東英雄

農業日本

松本要

協同先驅

古宇田清平

農業

西村彰一

農業と經濟

安田誠三

帝國農會報

島田日出夫

岐阜縣農會報

相澤高亮

岐阜縣農會報

高村善治

滿鐵調查月報

吳振暉

農務時報

相原言三郎

農業

尾崎史郎

組合金融

農業機械論

時局と肥料對策

最近の硫安問題

分村計畫の實例

戰時産業組合の根本問題

産業組合關係法律

事變下に於ける産業組合の強調

販賣組合運動の大衆化に就て

亞米利加合衆國に於ける農業者

朝鮮に於ける農業團體の統制綱領

長期戦下の農村戦線

銃後農村二三の問題

時局下に於ける本邦農業の現状と其の將來

戰時經營と農村問題

非常時に蹶起せる農山漁村

田中定

經濟學研究

若山清

福井縣農會報

仲原善一

農業及園藝

辻誠

農業と經濟

針生健次郎

協同先驅

月田藤三郎

帝國農會報

杉本眞雄

産業組合

河野英

産業組合時報

小早川九郎

朝鮮農會報

島田普作

産業と教育

長野健

産業組合時報

那須皓

銀行通信錄

末次虎太郎

實益農業

岸勇一

朝鮮農會令

滿洲國の農村政策	五十子虎三	富	民	四月號
農村の戰時保護體制	末	東洋經濟	時變倍大號	
近世農村に關する一資料	鎌田久明	經濟史研究		
滿洲に於ける蔬菜の需給	熊澤三郎	滿洲農產月報	四月號	
防共經濟と滿洲大豆	森田甲子三	社會政策時報	二月號	
工場經營の革新	鈴木宗正	工業聯合報	四月號	
本邦家内工業の現状と其の新生面	伊藤俊雄	エコノミスト	四月二一日號	
軍需工業の生産力	木村增太郎	經濟の展望	三月號	
北支開發と滿鐵、東拓、興中の動向	宮崎賢一	文藝春秋	第七增刊號	
對支經濟工作の基本	中	水産界	三月號	
漁船保險と漁村經濟	河北	エコノミスト	四月一日號	
中支工業經濟の地位	河北	滿鐵調查月報	四月號	
北支農業經濟の發展	近藤康男	愛知縣農會報		
河北農村經濟の概況				
戰時下に於ける農村經濟機構の推移				

わが統制下經濟の現段階	山崎靖純	評支南論		
日本經濟はどう轉換しつゝあるか	金原賢之助	實業之日本	四月一日號	
全體主義經濟所論	高木壽一	日本會評論	四月號	
戰時經濟總論	河田嗣郎	エコノミスト	四月二一日號	
世界諸國に於ける生産力の發展	E・ヴァルガ	滿鐵調查月報	四月號	
戰時經濟制下の産業を覗く	色川俊次郎	經濟市場		
統制強化と各事業界	松室重生	日本重工業		
石炭増産問題と統制機構の進路	森山茂樹	科學主義工業		
統制は統制を呼ぶ	山崎靖純	財政經濟時報		
ナチス統制經濟の全貌		經濟情報		
ドイツとバルカン經濟		エコノミスト	四月二一日號	
獨逸合併の經濟觀		銀行通信錄	四月二〇日號	
獨逸合併の經濟的效果		日本重工業	四月號	
ナチスに於ける經濟團體とカルテル				

イタリヤの國防經濟機構

イギリス搾取經濟の基底 英海外投資の全貌

英國々防經濟論

佛領西阿經濟事情

佛領西阿經濟と加奈陀

滿蒙地區の產業概觀

重要物資の需給と其の對策

物資需給一般的調節策

配給統制の鳥瞰

配給統制の效果

時局下の農村生産力問題

ソ聯の電力事業

時局産業對策に關する意見並參考資料

輓近の米國經濟情勢

英領馬來農業政策の變遷

小 穴 毅

商工經濟

四月號

ピ・エム・シ

評 日本重工業

〃

後 藤 富 男

海外經濟事情

四月二五號

川 口 秀 基

日本及日本人

五月號

景氣研究所

文化農報

〃

千石興太郎

ダイヤモンド

五月一日號

直井武夫

エコノミスト

〃

全國産業團體聯合會

大阪銀行通信錄

五月號

新木榮吉

協和

〃

三菱經濟研究所

野村合名會社調查部

四月號

東亞經濟調查局

南支南洋

〃

カザリン・ポーター

易

〃

津 吉 英 男

南洋群島

〃

東亞問題研究會

外國の新聞と雜誌

四〇〇號

東京通信社

漁村

五月號

菊池正夫

三 省 堂

〃

鷺澤與四二

日本工業俱樂部調查課

〃

石川彌吉

東亞協會

〃

勝田貞次

生 活 社

〃

熊田克郎

全國産業團體聯合會事務局

〃

小林正彦

千倉書房

〃

柳澤英壽

春 秋 社

〃

三 友 社

〃

日本統制經濟研究所

〃

北支經濟案内
 北支經濟開發に關する三大要項と諸家の論策
 大戰中の英國財政及當初の經濟政策
 獨逸の統制經濟
 北支經濟の開發
 對大陸經濟關係強化の沿革及其の解決策
 鮮滿支新興經濟
 内外經濟概觀
 北支經濟調査
 ナチス新統制經濟讀本
 支那事變の影響調査
 戰時經濟と銀行・戰時經濟政策
 (新)
 戰時經濟の第二年
 長期戰の覺悟を固め銃後財政に萬全を期す

高木陸郎 今日の問題社
 松浦長治 大東亞協會
 大藏大臣官房 課 千倉書房
 政經 大矢五郎 慶應書房
 十河信二 新日本同盟
 川島信太郎 日本外交協會
 小島精一 春秋社
 熊田克郎 野村合名會社調査部
 中川貞三 名古屋市産業部
 小島精一 千倉書房
 東京商工會議所
 金原賢之助 全國地方銀行協會
 榎崎敏雄
 (新)
 賀屋藏相 都
 一月一日

インフレに懸念なし
 經濟動員の實施

朝鮮の生産力擴充
 戰勝の意義と戦後の經濟界上
 (下)
 世界景氣の動向上(恐慌果して來るか)
 (中)米國の景氣振興策
 (下)ベルギー前首相の報告
 北支開發現地報告
 生産力擴充に關係ある經濟論說

結城日銀總裁 一月二三日
 橋爪明男 一月三日
 社説 一月四日
 高橋龜吉 一月五日
 讀中外 一月七日
 朝日 一月八日
 佐倉特派員 一月九日
 一月二二日
 一月二四日
 一月一四日
 一月一四日

日滿支經濟結合基本政策は何か	山崎靖純	讀	賣	一月一七日
戰時體制の財經策下	社説	中	外	一月二四日
北支産業開發に日支提携指導機關を常設	臨時政府	中	外	一月二六日
經濟省の新設論に就いて	社説	讀	賣	一月三〇日
生産力擴充刻下の中心問題	讀	讀	賣	一月三一日
下請工場擴張と勞働施設の整備	讀	讀	賣	一月三一日
高級技術獲得	讀	讀	賣	一月三一日
内外資の誘導	讀	讀	賣	一月三一日
先づ人的資源	讀	讀	賣	一月三一日
政策は現實遊離統制組織は劣弱	讀	讀	賣	一月三一日
中小業の窮狀打開策	中野金次郎	中	外	一月一〇日
全國倉庫在庫調	日本倉庫組合	日	外	一月二三日
小作農漸減昨年末の農村調査	農林省	都	日	一月二五日
十二年の米收高	農林省	日	日	一月二三日
全國の米實收高	農林省	朝	日	一月二三日

公營電氣事業の營業成績	遞信省	中	外	一月三〇日
滿洲國今後の産業開發	論説	報	知	二月五日
統制經濟に對する反抗	社説	中	外	二月一〇日
北支開發國策會社の立脚地	大藏公望	朝	日	二月二〇日
北支經濟の工作	農林省	中	外	二月五日
耕地面積漸増	農林省	中	外	二月五日
工業試驗場を全國的に統制	商工省	日	日	二月一六日
對支兩國策會社法案	社説	日	日	三月一日
公債消化の國民的基礎	論説	報	知	二月二日
北支經濟と資源諸統計資料(十一)	陸軍省	日	業	自三月三日 至三月一九日
經濟團體と産業統制問題	新陸軍	中	外	四月六日
より緊要な生産力擴充	社説	報	業	四月二四日
日滿伊經濟提携の課題	日滿伊	報	業	四月二八日
農業國策の轉換	農業	報	業	四月六日

需給調整協議會と産業統制	社説	中外	五月二六日
滿洲國の修正増産計畫	〃	日	五月一九日
支那開發會社の戰時經營	工業春秋	日刊工業	五月三日
戰時經濟への全面的轉換	高橋龜吉	讀賣	五月一六日
財界活力は回復	筆名	發行所又は誌名	發行年月日卷號
軍擴景氣へ移行する英國經濟	エコノミスト	經濟研究	一月一號
軍擴景氣の行方	エコノミスト	經濟研究	一月一號
米國景氣の展望	エコノミスト	經濟研究	一月一號
米國は北支投資に日本と協力せん	アイ・ポールゲスン	東洋經濟新報	一月一號
米國景氣實體と見透し	アイ・ポールゲスン	東洋經濟新報	十二月十二日三號
資本家との妥協	〃	エコノミスト	一月一號

二、金融關係

一九三八年の世界景氣展望	エルンゲスト	日本重工業	一月一號
景氣の軍需偏重傾向	世界經濟欄	東洋經濟	一月二九日號
滿洲に於る金融機關	〃	東亞商工經濟	二月一號
支那經濟今後の動向	岡崎三郎	改造	〃
事變と我が財政經濟の將來	高橋對龜吉	東洋經濟	一月一五號
戰爭と日本の財政經濟	高木壽一	實業之日本	一月一五號
財界の將來に對する心構へ	増田義一	〃	〃
本年經濟界の見透し	石橋湛山	東洋經濟	一月二九日號
戰爭と日本資本主義	土屋喬雄	改造	二〇卷一號
支那事變と日本資本主義體制の動向	岸本誠一郎	工業	一月一號
戰時第二年の財政政策の發展	高木壽一	財政經濟時報	〃
戰時統制と跛行景氣	豐崎稔	〃	〃
我が戰時經濟は何處へ行く	野崎龍七	經濟マガジン	〃
戰爭と我が國力	有竹脩二	交通經濟	〃
跛行景氣の深化と對策の方向	山崎靖純	財政經濟時報	〃

跛行景氣への對策 飯田清三 財政經濟時報 一月號

今後我國經濟界の動き 木下半治 産業組合 〃

國際收支と物價及景氣の前途 野崎龍七 ダイヤモンド 一月二十九號

爲替割當制の實施とそれに續くもの 〃

對支重大聲明と金融界 高島佐一郎 商工經濟 一月號

公債消化力と事業資金調整問題 高垣寅次郎 〃

公債消化と資金調整 高瀬千波 〃

最近公債政策の展望 金子泰藏 〃

時局下に於ける爲替問題 金原賢之助 財政經濟時報 〃

長期戰時經濟の運營と貿易爲替 色川俊次郎 〃

十三年金融界の展望 岩井三茂 工政 〃

支那事變と我が金融界 川島信太郎 外交時報 二月一日號

對支經濟關係強化と沿革及其の解決策 勝田貞次 實業之日本 〃

北支景氣は近く出るか 勝田貞次 東洋經濟 二月一二日號

國際經濟の重大焦點英國景氣の前途 〃

英國海外投資の推移 勝田貞次 〃 二月五日號

英國の海外投資動員能力 大塚小一郎 ダイヤモンド 二月一日號

米國の景氣はどうなる 藤本 〃 二月號

米國景氣の豫測 金田 〃 〃

米國及英國景氣の波動 栗田 〃 〃

米國景氣の最近相 市川泰次郎 東洋經濟 二月一二日號

米國に於ける日貨排斥運動 松田慎三 外交時報 二月一五號

アメリカに於ける戰時特設金融機關 美濃部亮吉 企業 二月號

アメリカ經濟と世界經濟の現勢 英佛駐劄財務官報告 調查月報 〃

獨逸の再軍備と特殊手形金融 エコノミスト 二月二一日號

歐洲諸國に見る清算制度の發達 〃 〃

第三次増税と悪性インフレの對策 〃 〃

戰時財政の動向 布施衞一 自業 二月號

戰時體制下の増稅論 廣川 恆 産業組合時報 〃

戰時財政の平常化に對する準備 高木 〃 經濟展望 〃

戰時増税の若干問題	高木壽一	東洋經濟	二月二六日號
長期戦豫算の梗概	總論欄	エコノミスト	二月一日號
戦時増税はどふ響くか	調査欄	東洋經濟	二月五日號
戦局と増税問題	汐見三郎	エコノミスト	二月一日號
財界の推移悲觀の要なし	渡邊鏡藏	實業之日本	二月一日號
インフレとインフレ景氣の戦ひ	津村秀松	〃	二月一五號
小資本の北支進出は時期尙早	稻葉房藏	ダイヤモンド	二月二一日號
對外借款は果して可能か	酒井俊彦	東洋經濟	二月五日號
國內資金調査規則に就て	栗栖赴夫	財政	二月號
生産擴充資金と起債市場の打開	金原賢之助	科學主義工業	二月二一日號
金融の緩慢と金融統制の段階	橋爪明男	經濟情報	二月一日號
日銀保有金八億を現送せよ	大塚小一郎	ダイヤモンド	二月二一日號
通貨膨脹と節約	野崎龍七	經濟時潮	二月號
護謨市價は急回復困難	高田保馬	ダイヤモンド	二月二一日號

租税と生活安定	高田保馬	財政	二月號
生産統制と金融	宮城雄太郎	水産公論	〃
資金調整と爲替管理の手際	野崎龍七	國際グラフ	二月一日號
事變下の爲替と物價	野崎龍七	ダイヤモンド	二月一日號
爲替清算制度	彌縫的爲替對策論をやめよ	エコノミスト	二月二一日號
彌縫的爲替對策論をやめよ	政府資金放出と金融緩和	東洋經濟	二月二六日號
第三次増税と悪性インフレ對策	事變と中小商工業金融	商工經濟	二月號
中小商工業金融最近の動向	工藤昭四郎	經濟展望	〃
時局と金融狀勢	津島壽一	産業組合時報	〃
資金調整問題	理財局	貿易	三月二一日號
北支に於ける金融工作の進展	小林幾次郎	財政	三月號
獨逸に於ける爲替清算制度の功罪	〃	東洋經濟	三月二二日號

軍擴景氣の跛行性	中野英夫	産業組合時報	三月二日號
米國の景氣政策	中野英夫	東洋經濟	三月二日號
米國の景氣と支那事變	中野英夫	日本評論	三月二日號
フランスの對外借款に就ての不安	高瀬千波	商工經濟	三月二日號
軍擴と世界景氣	高瀬千波	一橋論叢	三月二日號
事變増税の性格	野崎龍七	帝國農會報	三月二日號
支那事變増税案に就て	野崎龍七	帝國農會報	三月二日號
今後の我國産業と金融關係	木村増太郎	帝國農會報	三月二日號
普通銀行の農業金融	加藤俊次郎	帝國農會報	三月二日號
地方金融の振興について	加藤俊次郎	帝國農會報	三月二日號
増税と中小商工業への影響	細谷義光	産業組合時報	三月二日號
消費節約の徹底化	細谷義光	産業組合時報	三月二日號
戦費五十億とその影響	細谷義光	産業組合時報	三月二日號
金融國家統制と庶民金融の特質	永山忠則	農政研究	三月二日號

時局と我金融界	岩井茂	産業と教育	三月二日號
時局金融と生産力擴充	山口茂	一橋論叢	三月二日號
地方金融の振興に就いて	山口茂	一橋論叢	三月二日號
今後の我國産業と金融關係	細谷義光	産業組合時報	三月二日號
差水としての資金調達が急務	木村増太郎	科學主義工業	三月二日號
金融機關の戦時組織	宮崎芳一郎	ダイヤモンド	三月二日號
戦時金融情勢	宮崎芳一郎	ダイヤモンド	三月二日號
インフレーションと銀行	E.W.ケンメラ	東京銀行集會所	三月二日號
經濟の循環運行と國民貯蓄	E.W.ケンメラ	東京銀行集會所	三月二日號
公債消化對策と其の限度	高橋泰藏	一橋論叢	三月二日號
中國聯合準備銀行開業す	高橋泰藏	一橋論叢	三月二日號
中國聯合準備銀行の設定	河野通一	東亞商工經濟	三月二日號
中國聯銀と中央銀行	河野通一	經濟公報	三月二日號
新生中國の金融體制	河野通一	經濟公報	三月二日號
金融關係	河端瑞雄	大阪銀行通信錄	三月二日號

北支新幣制の確立

飯島 幡司

ダイヤモンド 四月一日號

中支の通貨政策を速に確立せよ

東洋經濟 四月二日號

北支の通貨金融産業に就て

谷口 吉彦

大阪銀行通信錄 四月號

戰時財政金融工作の發展

小島 精一

日本重工業 //

大陸經濟開發と外資輸入問題

金原賢之助

經濟情報 //

長期戦と我が財力

津村 秀松

實業之日本 四月一五號

事變下の産業會社利潤

東洋經濟

四月二三日號

下期財界の動向打診

經濟展望

四月號

日滿支ブロックの基調

山崎 靖純

貿易 //

中小商工業の問題重大化せん

評論 //

戰時財政の高度化と公債消化政策の前途

經濟タイムス //

貯蓄獎勵と公債消化

金原賢之助

經濟情報 四月一日號

轉換期に立つ公債消化政策

山崎 靖純

經濟情報 四月一日號

通貨膨脹と保證準備の擴張

山崎 靖純

經濟情報 //

現下の中小商工業金融問題

荒木 光太郎

改造 四月號

金融と爲替對策の前途

扇 城生

經濟展望 //

日銀保證準備擴張

原 祐三

東邦經濟 //

戰爭と景氣變動

清水文之輔

ダイヤモンド 四月一日號

景氣は今後どう轉換するか

ウイームス・ノガロ

實業之日本 四月一五號

ドイツに於ける資金調整の新方法

岸田 英治

外國の新聞と雜誌 四月五日號

北支開發と外國投資問題

後藤 駒吉

外交時報 四月一五號

農村及都市の財政研究

青木 一巳

帝國農會報 四月號

漁村金融思考

中野伊三郎

水産公論 //

時局と農會金組改造

田沼 征

朝鮮公論 //

米國のインフレ乗り出し

東洋經濟

財政經濟時報 //

米國の新インフレ策

東洋經濟

四月二三日號

北支の金融政策と外國銀行の動向

東亞

五月號

金融の戰時編成

田中 金司

エコノミスト 五月一日號

體制下の爲替問題歸趨

春日井金 薰

力之日本

五月號

生産擴充進展と金融専門化

經濟知識

五月二二日號

戦時下の金融基調

エコノミスト

五月二二日號

現下中小商工業金融の問題

岡庭博

工業國策

五月號

爲替政策益々前進

ダイヤモンド

五月一日號

最近の支那農業經濟概況

南支南洋

五月號

金融上より見たる漁業組合經營

杉野精一郎

水産公論

〃

戦時下の中小商工業金融論

岡庭博

慶應書房

〃

金融資料

金融研究會

〃

獨逸に於ける財政及金融政策の概観(一九三三年—一九三七年)

野村證券株式會社調査部

調査彙報

第七號

事變と中小商工業金融

工藤昭四郎

商工經濟

二月號

蒙疆經濟事情

岩下喜一

東洋貿易研究

四月號

金融一月分・二月分・三月分

日本銀行調査局

〃

銀行會社計畫資本調一月二月三月

〃

〃

銀行會社資本調一月調二月調三月調

一九三八年投資相談

勝田貞次

千倉書房

戦時金融及び金融政策

金原賢之介

東京銀行集會所

〃

佛蘭西の貨幣銀行制度と金融市場

十龜盛次

一元社

〃

金融事項参考書

大藏省理財局

内閣印刷局

〃

現時の國際金融

服部文四郎

明善社

〃

(新 聞)

日銀の正貨準備八億圓臺堅持

賀屋藏相

日

一月一日

日銀正貨準備の改廢問題

社

讀賣

一月五日

金政策強化

〃

日

一月七日

中華聯銀クレヂット全機關の協力要望

結城日銀總裁

〃

一月一三日

十二月末國債額調

大藏省

外

〃

金融と爲替對策

社

日

二月一四日

爲替清算協定

吉野商相

都

一月二七日

新增稅の産業偏壓金融偏護を排せよ

預金部狀況一月末現在

昨年度業別資金移動

公債と金融調節

中國準備銀行の開業

財政當局の通貨膨脹抑制策

本式になる貯蓄獎勵

高橋龜吉 中外 一月二四日

大藏省 〃 二月九日

興業銀行 〃 二月四日

社説 〃 三月五日

論 〃 三月一日

社説 〃 三月一七日

論 〃 五月一日

三、資源關係

題名、件名又は書名

筆者名

發行所又は誌名

發行年月日卷號

北支那の農産資源

社 永井彰一郎 欄 國勢グラフ

一月號

製造原料を北支資源に求む

社 永井彰一郎 欄 科學主義工業

〃

各國々防資源の現状

安川喜好 高經雜誌

〃

資源の愛護と開發

住吉信吾 ダイヤモンド 科學主義工業 一月一日號

工業鹽の資源確保と北支長蘆鹽の地位

有馬頼寧 農政研究 〃

國民生活の安定と生活資源の確保

山田忠次 交通經濟 〃

朝鮮の電力統制

小林正一郎 農政研究 〃

農村に於ける小水力利用

出弟二郎 科學主義工業 〃

電力資源開發私見

松田金弘 東洋經濟 一月二九日號

北支の治水と水力資源

山口珪次 ダイヤモンド 科學主義工業 一月一日號

ドイツに於ける技術工の養成

山口珪次 科學主義工業 二月號

豫算大膨脹と北支資源の開發

大口喜六 實業之日本 二月一五日號

資源再分配問題を繞る國際政局

藤澤親雄 都市公論 〃

開發の確實なる地點と發電力

都市公論 〃

滿洲に於ける電力資源の開發狀況

經濟研究 〃

北支の電氣事業に就て

益進 科學主義工業 三月號

北支に於ける電源開發問題

經濟展望 〃

米國に於ける配電費用の研究

野村寅三郎

國民經濟雜誌

三月號

我國及列強の電力管理

出弟三郎

財主工政

〃

北支の資源に就て

高木陸郎

産業と教育

〃

層も國家の資源なり

日野文雄

經濟マガジン

〃

滿洲國資源開發と我國産業の發展性

鮎川義介

交通評論

〃

物的資源動員と造林國策

白澤保美

山主工林

〃

ガソリン客車の燃料轉換に就いて

官本

鐵道軌道經營資料

〃

我が資源政策

松井春生

エコノミスト

四月二十二日號

生産資材問題(特輯)

坪井郁孜

水産公論

四月號

1. 最近漁網界の諸問題

齊藤忠毅

〃

〃

2. 漁網染料の輸入制限と代用品工業

眞庭五郎

〃

〃

3. 罐詰不足問題は解決したか

羽室三男

〃

〃

4. 鐵價の暴騰と漁船建造

六郷寛

〃

〃

5. 消費統制下の漁業用燃油

〃

〃

〃

電方案としての電力

安田庄司

實業之世界

〃

動力としての電力

平井羊三

評議院公論

〃

北支經濟開發と電氣事業進出

永松利熊

經濟市場

五月號

内蒙古の經濟資源

長野秋峯

經濟マガジン

〃

北支の産業地理・平綏線の資源と交通

井出正孝

帝國農會報

〃

時局下農村に於ける勞力問題

近藤康男

静岡縣農會報

〃

時局と農村勞力問題

村松傳藏

農村工業

〃

工業原料用甘藷の増産に就て

山岸逸郎

創造

〃

北支五省の農産資源

杉浦保吉

水産界

〃

海洋の資源と其の利用

朝鮮銀行

東亞經濟調查局

〃

内鮮滿北支地下資源對照

國際經濟研究會

日本銀行調查局

〃

資源獲得と植民地再分割論

山口貫一

商工經濟

十二年十二月號

熟練工養成問題に關する歐米の傾向

臺灣銀行調查課

〃

南支那の資源

臺灣銀行調查課

〃

支那事變と北支の資源

日本貿易協會

安東沿線單寧資源關係調查報告

川村順

世界植民地の資源と經濟

益田直彦

日滿支經濟ブロックに於ける重要物資とその需給狀況

千倉書房

日本資源政策

松井春生

北支資源と其の開發

山崎光夫

人的資源研究

暉峻義等

國防資源論

改造社

中支山東の資源鳥瞰

伍堂卓雄

北支の資源と産業

日本評論社

內蒙古の經濟資源

拓殖公論

重要原料資源生産月報

田淵鴨村

日滿支ブロック需給資源論

田淵鴨村

物資總動員の根本精神

前田善教

北支經濟開發と五省の資源

中山桂三

北支八省の資源

馬場敏太郎

資源開發北支讀本

會田勉

北支資源と其の開發

山崎光夫

北支資源開發に就て

水谷利明

日滿支ブロック需給資源論

小濱重雄

戰時經濟第二年は資源開發促進

商工省

滿洲北支の開發と外資輸入の方法

石橋湛山

不熟練者激増で災害頓に増加

労働科學研究所

深刻なる中小工業の原料難

社説

濠洲鐵鑛の輸出禁止

中外

日本協會出版部

一月五日

實業之日本社

一月一日

啓文社書店

二月一日

貴衆兩院情報發行所

五月一三日

小濱資源研究所

五月二〇日

讀賣

一月五日

中外

一月一日

日刊工業

二月一日

中外

五月一三日

中外

五月二〇日

四、貿易關係

題名、件名、又は書名	筆者名	發行所又は誌名	發行年月日卷號
長期戰時經濟の運営と貿易爲替	金原賢之助	財政經濟時報	一月號
戰時貿易の改善方策	谷口吉彦	エコノミスト	二月二日號
貿易制限の歸結	尾形繁之	ダイヤモンド	五月一三日
戰時下の貿易統制	柏原靜一	エコノミスト	二月一日號
對外發展の具體策	片山謙三	財政經濟時報	一月號
時變下輸出貿易と中小工業	宇間高基輔	商工經濟	〃
最近我國貿易政策の推移	小高重雄	貿易經濟叢書	〃
國際貿易の推移	水谷洋一	貿易經濟叢書	〃
支那事變の本邦貿易に及ぼせる影響	大山貿易通信員	内外商工時報	〃
盤谷に於ける日貨排斥運動	寺島鹿夫	産業と日本能	〃
モザンビック政府直轄領に於ける本邦品概観	松島鹿夫	本邦會出題	〃
時局と輸出入問題			
現下の時局と外國貿易			

最近の輸出入禁止と制限	緒方基郎	財政經濟叢書	〃
我が貿易の事變との關聯	具關謙三	ダイヤモンド	一月二二日號
統制第一年の綿布輸出と今後の豫想	高橋謙三	貿易經濟叢書	〃
上海稅關の接收問題	高橋謙三	エコノミスト	〃
層鐵輸入の一元統制強化	山崎謙三	日本重工業	二月號
棉花輸入制限の實施我國の棉業	田村謙三	滿鐵調查月報	一月號
昭和十二年の本邦貿易を顧みて	田村謙三	内外商工時報	〃
昭和十二年本邦外國貿易の概況	田村謙三	〃	〃
關東州海路貿易	尾關將玄	東亞商工經濟	〃
世界の關稅と海關	野上重朗	財政經濟叢書	〃
植民地の關稅制度		エコノミスト	一月一日號
戰時統制の方向		貿易經濟叢書	二月號
世界貿易とスエズ運河	山崎靖純	評議院論	〃
支那の對日輸出力と北支開發の意義		〃	〃
英帝國ブロックの解體化と日滿支貿易		〃	〃

米國の對日支貿易額
我が現狀に酷似した大戦時の獨逸貿易

東阿貿易の再檢討

バイラの貿易狀態

埃及の關稅改正

ブラジルの珈琲政策變更と日伯貿易

最近の智利國對日貿易と日支事件に依る影響

昨年度滿洲國貿易

滿洲國關稅法改正の意義

滿洲の對支輸出恢復への途

昭和十二年の本邦生絲輸出高

輸出綿業に自由を與へよ

昭和十二年の本邦貿易を顧みて

昭和十二年貿易の回顧

輸入増加顯著の我が昨年度貿易

貿易 二月號

エコノミスト 二月二二日號

内外商工時報 二月號

貿易 二月號

中南米貿易 二月號

貿易 二月號

財新工報 二月號

評議院查員論 二月號

蠶絲界報 二月號

綿工聯 二月號

内外商工時報 二月號

財新工報 二月號

國際知識 二月號

振つた昨年度下期の國別貿易

昨年度の機械貿易

本邦對外貿易概況

外國貿易調節の一形態

海運及貿易

日本のブロック内諸國よりの輸入狀態

ブロック強化の第一前提としての貿易政策

最近の輸出入禁止と制限

中小工業と輸出貿易

戦時下に於ける輸出振興

日支事變發生と印度綿布の輸出入及増産狀況

綿業中心に見た輸出對策の失敗

貿易政策の變遷

萎縮し行く對外貿易

難行の輸出貿易の見透し

東洋經濟 二月五日號

日本重工業 二月號

財新工報 二月二二日號

商工經濟 二月二二日號

本邦財界狀勢 二月二二日號

評議院查員論 二月二二日號

財新工報 二月二二日號

社會政策時報 二月二二日號

中南米貿易 二月二二日號

貿易 二月號

エコノミスト 二月二二日號

財新工報 二月二二日號

ダイヤモンド 二月二二日號

經濟情報 二月二二日號

事變下の我が貿易	山本 曾 夫	貿易	三月一日號
貿易と戦争及外交との關係	渡邊 鍊 藏	商工經濟	三月一日號
戦時經濟と日滿貿易政策の歸趨	太田 秀 雄	滿鐵調査月報	三月一日號
事變下に於ける水産貿易の動向	江 副 元 三	水産界	三月一日號
北支貿易の種々相	淺 香 末 起	經濟學雜誌	三月一日號
原料統制と輸出減退	川 島 源 一	日本重工業	三月一日號
貿易部門の變貌	川 島 源 一	エコノミスト	三月一日號
注目すべき我貿易政策の轉換	藤 本 基 順	東洋經濟新報	三月二日號
劃期的の輸出振興策	山 口 馨 夫	エコノミスト	三月二日號
輸出貿易不振の對策	大 渡 順 二	ダイヤモンド	三月號
輸出入品臨時措置法の改正	山 口 馨 夫	經濟情報報	二月一日號
南米貿易に活路を求めよ	山 口 馨 夫	經濟情報報	二月一日號
製粉輸出の將來と市價	山 口 馨 夫	ダイヤモンド	二月二日號
米國の對日支貿易額	山 口 馨 夫	貿易	二月號
東亞貿易の再檢討	山 口 馨 夫	内外商工時報	二月五日號

モザンビック會社領に於ける本邦品概觀

ダンサレム本邦品概觀

悲觀的なる英國貿易の將來

英米鐵鋼輸出貿易の現狀と促進工作

昨年度國別輸出入額表

我が對外貿易と原料問題

昭和十二年度の我國商品貿易の分析

現下に於ける輸出振興問題

關稅免稅品の話

戦時貿易振興と清算制度

ドイツの貿易狀況

英國の貿易狀況

英國と米國間通商交渉と兩國の貿易關係

フランコ政權の貿易政策

一九三七年に於ける世界關稅及通商政策

モザンビック會社領に於ける本邦品概觀	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
ダンサレム本邦品概觀	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
悲觀的なる英國貿易の將來	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
英米鐵鋼輸出貿易の現狀と促進工作	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
昨年度國別輸出入額表	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
我が對外貿易と原料問題	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
昭和十二年度の我國商品貿易の分析	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
現下に於ける輸出振興問題	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
關稅免稅品の話	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
戦時貿易振興と清算制度	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
ドイツの貿易狀況	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
英國の貿易狀況	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
英國と米國間通商交渉と兩國の貿易關係	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
フランコ政權の貿易政策	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號
一九三七年に於ける世界關稅及通商政策	山 口 馨 夫	貿易	三月一日號

我國貿易の現狀及今後の動向	高島誠一	財工	四月號
貿易の現狀と將來	淺間龍藏	貿易	四月號
戰時體制下の貿易振興政策	上坂西三	商工經濟	四月號
爲替堅持説と輸出振興問題	金原賢之助	財政經濟時報	四月號
輸出振興と現實の諸方策	高島誠一	財政經濟時報	四月號
輸出振興に關する根本問題	上坂西三	財政經濟時報	四月號
國際通商振興の基本的方策	祥瑞專一	財政經濟時報	四月號
輸出振興論義	財界時報	日本重評論	四月號
輸出貿易振興の一策	木村増太郎	日本重工業	四月號
我國輸出貿易の振興促進に關する意見	中島恒雄	財政經濟時報	四月號
時變下の貿易非常對策	舞田壽三郎	財政經濟時報	四月號
わが重化學工業貿易の趨勢	綿業を中心とした輸出振興策	綿布輸出の打開策	四月一日號
人絹の輸出振興			

今が輸入緩和の好機	岡崎忠雄	財政經濟時報	四月一日號
時局下アンチモノ製品の貿易前途	中島義一	財政經濟時報	四月號
極東貿易の躍進性	戸田貞次郎	東邦經濟	〃
貿易統制機構論	今村武志	財政經濟時報	〃
關稅の部分的改正	木谷忠義	財政經濟時報	〃
水産貿易概況	水産公論	水産公論	〃
戰時の市場と魚價	木崎工喜平	水産公論	〃
南洋材需給と最近の輸入許可量	武市昇太郎	山林	〃
昭和十二年度の木材貿易	木	山林	〃
戰時體制下の貿易振興策	上坂西三	商工經濟	〃
時變下の支那貿易	企	商工經濟	第一卷第四號
外國貿易一月分・二月分	日本銀行調査局	日本銀行調査局	〃
臺灣貿易年表(昭和十一年)	臺灣總督官房外事課	臺灣總督官房外事課	〃
最近三年本邦外國貿易要覽	商工省貿易局	商工省貿易局	〃
滿洲國の關稅改正と朝鮮の對滿貿易に就て	朝鮮銀行調査課	朝鮮銀行調査課	〃

滿洲國課稅輸出入品詳細統計(康德二、三年度)

戰時貿易統制

本邦對印度支那貿易振興施設に關する考察

暹羅國現行輸出入關稅一覽表

最近支那貿易事情

貿易振興策としての義務輸出制

再認識すべき本邦の南洋貿易

日本の南米貿易進展

日獨伊貿易の伸展に就て

昭和十二年度の本邦貿易總觀

日滿兩國の對伊貿易關係

戰時體制下の貿易と産業

長期戰下の貿易問題

輸出不振と貿易國策檢討

輸出不振の原因と其の對策

滿洲國財政部
平野常治

三菱經濟研究所
神戶商大商業研究所
調查部
商工省貿易局

秋山昱禧

日本工業俱樂部調查課

大阪市役所産業部貿易課

東洋貿易研究

神戸商工會議所

所報

大阪府立貿易館

通商彙報

神戸商工會議所

所報

〃

〃

川村九孝

本邦財界情勢

谷口貞吉彦

政界春秋

〃

〃

〃

中央公論

〃

エコノミスト

〃

ダイヤモンド

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

輸出増進の最上策

支那事變と本邦貿易の推移

統制下日本の外國貿易

日本貿易政策

時局と貿易

戰時貿易・爲替・物價論

支那事變の影響調査

外國貿易に對する影響

事變下に於ける我が貿易政策(上)

輸入制限撤廢せよ

中小商工業者の輸出向轉換

戰時經濟第二年輸入抑制五億圓

支那海關問題

〃

〃

三月一六日

三月一五日

三月一四日

三月一三日

三月一一日

三月一〇日

三月九日

三月八日

三月七日

三月六日

三月五日

三月四日

三月三日

三月二日

三月一日

支那海關問題

輸入とリンクして輸出増進を圖る

日滿通商協定懸案の解決

輸出振興の要切望

貿易の現状

シヤムの機械國別輸入量

工業鹽輸入割當數量内定

長期戦下の貿易振興策

貿易の現状と對策

一

二

三

四

五

六

七

木村増太郎

企畫院

社 工 説

結城日銀總裁

社 説

商工省貿易局

大藏省專賣局

社 説

淺間龍藏

社 説

都京商工會

社 説

山書

社 説

日商工會

一月九日

二月一日

二月五日

二月二〇日

二月二三日

二月二〇日

三月三日

三月六日

三月七日

三月一〇日

三月一日

三月二日

三月二五日

三月一六日

上海の海關問題

綿製品輸出振興策割高の是正

貿易懇談會の使命

上海海關問題の解決

大陸政策と世界市場

輸出補償法の擴充問題

上

下

輸出振興に關する民間案

貿易振興策の樹立、刻下の急務

戰時貿易の實相 1(輸出入共に減少輸入制限輸出に響く)

2(輸出減退の諸因)

3(輸出減退拍車)

4(綿糸公定價格制告示取締規則決定)

輸出貿易振興策の基調

輸出振興の眼目と貿易外交

社 説

朝 報

三月二五日

社 説

朝 報

三月一日

社 説

朝 報

四月一六日

社 説

朝 報

四月二八日

社 説

朝 報

五月一日

社 説

朝 報

五月三日

社 説

朝 報

五月四日

社 説

朝 報

五月二日

社 説

朝 報

五月一三日

社 説

朝 報

五月一七日

社 説

朝 報

五月一八日

社 説

朝 報

五月一九日

社 説

朝 報

五月二〇日

社 説

朝 報

五月二一日

濠洲鐵鑛禁輸の重要性
頂門の一針、巧妙な輸出振興(長期
信用を利用するシヤハト博士の手
腕)
海關問題の解決

社 中 外
パウ・アインチヒ
社 說 朝 日
五月二五日
五月三一日
五月四日

五、物價關係

題名、件名又は書名

筆者名

發行所又は誌名

正發行年月日卷號

ソ聯の貨幣、物價及び商品價值

E・ヴァアルガ

滿鐵調査月報

一月號

農産物價格統制と産業組合

平 實

産業組合

四月號

我國物價政策の展開

中野英夫

商工經濟

三月號

戰勝後經濟の課題
物價の昂騰と國內景氣

笠 信太郎

財政經濟時報

一月號

統制されながらも上昇景氣

經濟マガジン

經濟研究

二月號

進展する價格政策

ダイヤモンド

經濟マガジン

二月號

統制策と相剋

エコノミスト

エコノミスト

二月號

轉換期の物價運動

國際收支と物價及景氣の前途

小 井 關 善 一

ダイヤモンド

一月二一日號

米價高と平均賣の徹底

井 關 善 一

東 洋 經 濟

一月二九日號

まだ小巾往來の米價

川 上 鈴 舟

米 穀 日 本

二月號

標準値決定と糸價の動向

山 田 三 郎

ダイヤモンド

〃

價格統制の方向

高 橋 謙 三

地 方 行 政

〃

我國最近の物價騰貴諸相

中 野 英 夫

商 工 經 濟

二月號

我物價の騰勢

府 川 文 次 郎

國 勢 グラフ

二月二一日號

物價はどうなる

大 塚 小 一 郎

商 店 界

〃

國際發行と物價

大 塚 小 一 郎

經 濟 市 場

〃

小賣物價の騰勢

大 塚 小 一 郎

國 勢 グラフ

二月八日號

物價指數續騰す

大 塚 小 一 郎

東 洋 經 濟

二月五日號

最近の物價動向

大 塚 小 一 郎

ダイヤモンド

二月一一日號

戰時價格の調整問題

東 井 金 平

エコノミスト

二月一一日號

戰時物價の變動と統制

金 原 賢 之 助

經 濟 情 報

二月一一日號

事變下の爲替と物價	野崎龍七	ダイヤモンド	二月二日號
戰時戰後の獨逸爲替及物價		銀行通信錄	三月號
事變下に於ける農村物價の動向		帝國農會報	三月十一日號
米價支配の諸原因に就て	石塚俊	金融組合	二月號
昭和十三年米價私觀	川村寅之助	米穀	二九八號
本年度米價の展望	中島幸三郎	米穀	日本三月號
戰争時代の米相場觀	前金良平	ダイヤモンド	三月二一日號
在米高發表と米價	片山秀太郎	米穀	日本三月號
政府買入米の形態問題に對する私見	高岡熊雄	帝國農會報	〃
戰時に於ける軍需農産物の價格保障	山田雄三	一橋論叢	〃
計畫經濟と價格理論		産業組合時報	〃
通貨の膨脹と物貨問題		國勢グラフィック	〃
最近の我物價趨勢		經濟市場	〃
騰勢續く		東亞商工經濟	〃
海外に逆行の騰勢續く	小林鶴男		
物價統制機構樹立急務			
最近に於ける日滿物價趨勢			

物價統制方針	奥谷佐久三	ダイヤモンド	三月一日號
物價問題の重大化	宮入覺眞	エコノミスト	三月一日號
戰時統制下の物價騰貴	柳田惠一	ダイヤモンド	〃
突飛な騰貴はしない(衣)		實業之日本	三月號
今年一杯は漸騰する(食)		東洋經濟	四月二三日號
漸騰避け難し(住)	木村増太郎	財政	四月號
兌換券流通と小賣物價		大阪經濟評論	〃
物價問題の重大化と之が對策	郷司浩平	經濟情報	〃
戰時經濟と物價問題	小汀利得	改造	〃
最近の内外物價下落の特質と前途	高橋龜吉	科學主義工業	〃
物價は何處まで騰る	根津知好	中央公論	〃
事變物價の特徴	金原賢之助	商工經濟	〃
米國の經濟恐慌と我が物價問題	田沼征	財政經濟時報	〃
時局下の物價對策			
軍事費と物價管理			

龍大豫算の實行と物價	田	ダイヤモンド	四月一日號
戰時豫算の施行と物價對策の進展	金原賢之助	經濟情報	〃
物價統制問題	阿部賢一	エコノミスト	四月二一日號
物價統制策の強化	東洋經濟	東洋經濟	四月二三日號
物價及び爲替政策の破綻	〃	〃	〃
物價政策今後の動向	ダイヤモンド	經濟研究	四月一日號
物價昂騰と切符統制	經濟	經濟展望	四月號
物價抑制對策確立の急務	東洋經濟	財政經濟時報	四月三〇日號
政府は爲替及物價統制の緩和を此際聲明すべし	財政經濟時報	東洋經濟	四月號
物價騰貴と國民生活	東洋經濟	財	四月二三日號
兌換券流通高と小賣物價	木暮武太夫	改	四月號
事變下物資の調整方策	阿部賢一	エコノミスト	四月一日號
物價騰貴から財政と生活を護れ	渡邊政人	經濟情報	四月號
長期戰下の消費統制	〃	〃	〃
綜合的消費統制策に就て	〃	〃	〃

消費節約運動の絶對性

谷口吉春 エコノミスト 四月二一日號

米國の經濟恐慌と我が物價問題

根津知好 中央公論 四月號

南洋對日爲替相場主要物産市價表

南支南洋 五月號

時局下の物價對策

金原賢之助 商工經濟 四月號

東京物價調一月、二月、三月

日本銀行調查局 日本銀行調查局 四月號

東京物價月報一月、二月、三月

東京商工會議所 東京商工會議所 四月號

物價論

桑原晋 日本評論社 五月號

日本物價政策

高橋龜吉 野村證券株式會社調查部 五月一日號

昭和十二年物價統計表

商工大臣官房統計課 商工大臣官房統計課 五月一日號

支那事變下の物價問題

野村證券株式會社調查部 野村證券株式會社調查部 第八號

戰時の物價と其の統制

小林行昌 早稻田商學 第十三卷第四號

物價の理論と實際

啓明會 三菱經濟研究所 五月一日號

米價に關する研究

日本勸業銀行 是川經濟研究所 五月一日號

石炭騰貴と需給狀態

商田 況 エコノミスト 五月一日號

獨逸の價格統制策

ダイヤモンド 五月二一日號

輸出不振と高物價問題

持久戰と貿易と物價

物價と輸出の將來

物價騰貴の對策を語る

戰時經濟下の物價と勞賃

物價對策と國民貯蓄

高物價抑制策と貯蓄獎勵

物價政策と貯金獎勵策

今後の物價對策

龐大豫算の運用と物價騰貴

物價騰貴と生産力減退の傾向

戰時物價對策と公定價格制

時變下豫算の消化と物價の調整

低金利政策と物價・株價

物價騰貴と消費節約

河田 嗣 郎 財 政 五月一日號

日本銀行通信錄 大阪銀行通信錄 五月號

朝鮮及滿洲 財 政 五月號

豐 崎 稔 財 政 五月號

小 汀 利 得 財 政 五月號

永 田 健 三 財 政 五月號

新 倉 利 廣 財 政 經濟時報 五月一日號

青 木 得 三 財 政 經濟時報 五月號

今 村 武 雄 財 政 經濟時報 五月號

小 島 精 一 日本重工業 五月號

牧 野 輝 智 中央公論 五月號

谷 口 吉 彦 經濟論叢 五月號

谷 口 吉 彦 經濟論叢 五月號

切迫せる物價對策

緊迫した物價統制問題

わが物價政策の新動向

非常時經濟の進展と物價の變動

木材價格の季節變動に就て

金利と物價

物價論

米穀の自治的販賣統制

十二月東京卸賣物價指數

日銀卸賣物價續騰(十二月)

小賣價格の統制

物價對策の再吟味

輸入制限による物價騰貴警戒

一月の卸賣物價

山 内 藤 助 東 大 陸 五月號

鹽 野 谷 九 十 九 工 業 國 策 五月號

三 井 鼎 三 林 業 經 濟 政 策 資 料 五月號

豐 崎 稔 高 陽 書 院 五月號

桑 島 晉 有 明 堂 五月號

東 畑 精 一 日 本 學 術 振 興 會 五月號

大 川 一 司 日 本 學 術 振 興 會 五月號

日 銀 調 査 日 外 五月八日

日 本 銀 行 中 外 五月八日

社 説 朝 日 一月一三日

社 説 朝 日 一月一三日

結 城 日 銀 總 裁 中 外 一月一八日

日 銀 總 裁 中 外 一月一八日

日 銀 總 裁 中 外 一月一八日

日 銀 總 裁 中 外 一月九日

一月の物價指數	三 菱 調 査	讀	賣	一月一五日
小賣物價騰貴を統制せよ	社 東京商工會議所	國	民	一月二六日
特殊需要の繼續に小賣物價著騰	社 東京商工會議所	國	民	一月二七日
増稅案の審議と物價對策	社	讀	賣	一月二七日
物價高とその對策	社	中	外	一月一八日
物價對策至急樹立の急	社	日	日	一月一九日
物價騰勢への一步前進	社	朝	日	一月二五日
物價の監督機關	社	日	日	一月二五日
物價の騰貴	社	都	民	二月二日
物價は全面的に急角度の上昇	社 三菱經濟研究所	國	民	二月二日
東京大阪生計費指數	社 內閣統計局	都	業	二月二六日
消費の節約	社 內閣統計局	都	業	二月二六日
物價抑制策	社	日	日	四月三日
適切なる物價對策を樹てよ	社	中	外	四月七日
公債消化と物價對策	川 村 孝	國	民	四月二五日

同 中
同 下

物價問題の根本策について	社 結城日銀總裁	中	外	四月一六日
法的物價騰勢の歸趨	社	中	外	四月一七日
物價需給計畫を確立せよ	社	日	日	四月二〇日
大衆消費の制限	社	報	知	四月二四日
物價委員會の責任重大	社	都	日	四月二六日
物價の抑制	社	報	日	五月四日
物價對策の指針	社 大村增太郎	讀	賣	五月一六日
四月分十三都市小賣物價概況	社 大村增太郎	中	外	五月九日
價格統制の強化	社	國	民	五月二二日
必需品の價格統制	社	日	日	五月二二日
物價統制強化の必要	社	朝	日	五月二四日
五月生計費低下	社 內閣統計局	中	外	五月二七日
物價委員會の結論と其の成果	社	中	外	五月二九日

物價關係

物價政策の斷面1	(戰時物價の特殊性を認識せよ)	報	知	五月六日
2	(暴利取締令) 發動	報	知	五月八日
3	(重要産業統制法) 改正今後の運用期待せよ	報	知	五月一〇日
4	(最高標準價格制度) 失敗	報	知	五月一日
5	(原料ゴムを皮切りに配給統制) 漸次確立	報	知	五月二日
6	(先づ綿絲の強權劃期的の新政策)	報	知	五月三日
7	(物價委員會體制)	報	知	五月四日
8	(二重價格制度の實施は困難である)	報	知	五月五日
9	(強權統制への道) 需給調整協議會	報	知	五月七日
10	(最高價格制度は) 多種類に及ぼん	報	知	五月八日
11	(今後の中心政策) は全面的の消費節約	報	知	五月九日
12	(物の經濟運行に) 躍り出た兩機關物價調整局と科學審議會	報	知	五月二〇日

現下の物價問題1 (物價問題の意味と重要性)

1	(最近我國物價の) 趨勢	村	瀬	直	養	都	五月一〇日
2	(物價騰貴の原因) と根本策	村	瀬	直	養	都	五月一日
3	(物資需給調整の) 措置	村	瀬	直	養	都	五月二日
4	(直接的物價對策)	村	瀬	直	養	都	五月三日
5	(重要物資自給に) は物價抑制に手加減	森	田	直	養	都	五月四日
6	(國民生活安定に) も強力統制が緊要	中	野	金	次	郎	五月五日
7	(對策樹立の技術) 的困難	中	野	金	次	郎	五月八日
8	(局部的統制混亂) を全面的の完成	中	野	金	次	郎	五月九日
9	(對策樹立の技術) 的困難	中	野	金	次	郎	五月二〇日

物價關係

第二部 各部門に關するもの

一、鑛物關係

題名、件名又は書名	筆者名	發行所又は誌名	發行年月日卷號
ドイツ鐵鋼カルテルの發展		日本重工業	一月號
英國鐵鋼聯盟の組織と活動		〃	〃
米國の銀政策		東洋經濟	一月一五號
世界大戰中に於けるフランス鐵鋼委員會の活動	竹内謙二	日本重工業	一月號
最近世界鐵鋼業の動向	中井勵作	〃	〃
歐洲鐵鋼カルテルの實情		〃	〃
鐵資源と鐵國策		財政經濟時報	〃
鐵鋼資源入手難は依然解消せず		經濟研究	〃
鐵鋼、石炭、機械		日本重工業	〃
日滿銑鐵一元統制問題の進捗		〃	〃
鋼材共販の無力性		〃	〃

日滿支鐵鋼ブロックの建設	末兼要	〃	〃
滿洲及北支の鐵鋼資源を探る	門倉三能	科學主義工業	〃
北支の鐵鋼	小山一郎	科學主義工業	〃
北支鐵鋼資源の業界の寄與は薄期待日産の進出で滿洲鐵鋼資源開發積極化する	岡田益吉	東洋經濟	一月二九號
北支の金鑛及砂金	尾間一彦	科學主義工業	〃
内鮮金鐵山掌握へ日鐵の大計畫進捗		科學主義工業	一月號
新たに發見された東邊道の鑛物資源區域		經濟研究	〃
アルミニウム工業		エコノミスト	一月一日號
本格的擴張期に入れる我が鐵鋼界統制策との相剋(鐵鋼)		ダイヤモンド	〃
本格的の活動に入つた砂鐵工業	渡邊政人	日本重工業	一月號
戰時體制第二年度鐵鋼界の見透し	森山茂樹	〃	〃
鐵鋼増産五ヶ年計畫と鐵鋼資源問題	長谷川好男	〃	〃
日滿鐵鋼業の連繫工作		〃	〃

我國は特殊事情—(産銅)—	エコノミスト	一月一日號
産銅界一元統制への途	日本重工業	一月號
北支に於ける鑛産資源と其の經濟價值	本邦財界情勢	二月號
英國鐵鋼聯盟の組織と活動	日本重工業	〃
米國鐵鋼界の見透し	國際文化協會會報	〃
イタリーの鑛物資源	東洋經濟	二月一九日號
鐵鋼業に於ける歐米最近の動向	日本重工業	二月號
歐米鐵鋼業者間の協定	朝鮮行政	〃
朝鮮の地下資源	經濟發展展望	〃
朝鮮の鑛業界の全貌	國勢グラフ	〃
朝鮮の鑛産額	實業の日本	二月一五號
金鑛を採す	國勢グラフ	二月號
日支事變下のアンチモニー	科學主義工業	〃
北支の鐵鑛	日本重工業	〃
昭和十三年度の銑鐵増産計畫		

日滿鐵鋼業の連繫工作	長谷川好男	〃
鐵鋼場産五ヶ年計畫と鐵鋼資源問題	森山茂樹	〃
製鋼能力擴大と原料不足	ダイヤモンド	二月一日
鐵鋼統制の前途	國勢グラフ	二月號
帶鋼の自給達成	ダイヤモンド	二月二二日
産銅制限の進展	經濟發展展望	二月號
朝鮮の鑛業界の全貌	國勢グラフ	三月號
躍進する滿洲鑛業界の近況	國際文化協會會報	〃
滿洲の金産	國勢グラフ	〃
ソ聯産金工業の躍進	日本重工業	〃
昨年世界金銀統計「金銀とも未曾有の増産」	科學主義工業	〃
北支の鐵鋼資源	ダイヤモンド	三月二二日
北支の鐵鋼	橫堀治三郎	〃
金鑛資源に就いて		
銅の飢饉深刻化		

ニッケル鑛を見る

日本を中心とする鐵鋼業

鐵鋼業の配給統制

鐵鋼の配給統制

金増産計畫

銅の配給統制成る

産金事情

佛領印度支那の鐵鑛資源開發狀況

世界鐵鋼業の現勢力と我國の地位

世界鐵鋼業現勢と我國

北支の鐵鑛を打診する

日本鐵鋼業の強み

日本特殊鋼業の現況と特殊鋼飢饉について

鐵鋼の統制に就いて

産金政策の強化

ダイヤモンド 三月二日號

科學主義工業 三月號

日本重工業 //

ダイヤモンド 三月二日號

國勢グラフ 三月號

東洋經濟 三月一二日號

科學主義工業 三月號

經濟研究 四月號

日本重工業 //

外交時報 四月一五日號

經濟情報 四月一日號

日本重工業 四月號

インダストリー 四月五日號

日本重工業 四月號

科學主義工業 //

吉川 普晴二十

門倉 三雄

中村 日盛常務

ヤマニ エル・マン

竹内 謙二

渡邊 政人

栗本 勇之助

大河内 正敏

山岡 操

長野 精一

安田銀行調査課

臺灣總督府殖産局鑛務課

臺灣の鑛業

最近に於ける世界鐵鋼業

獨逸鐵鋼業概觀

北支に於ける鑛産資源と其の經濟價值

英領馬來の鑛業

鐵・鋼・鋼材

加奈陀の鑛物資源

金は如何にして採るか

軍需として大切な特殊鋼の話

銅の使用禁止と今後

礦物關係

山岡 操

長野 精一

安田銀行調査課

臺灣總督府殖産局鑛務課

臺灣の鑛業

最近に於ける世界鐵鋼業

獨逸鐵鋼業概觀

北支に於ける鑛産資源と其の經濟價值

英領馬來の鑛業

鐵・鋼・鋼材

加奈陀の鑛物資源

金は如何にして採るか

軍需として大切な特殊鋼の話

銅の使用禁止と今後

礦物關係

科學主義工業 三月號

日本重工業 //

ダイヤモンド 三月二日號

國勢グラフ 三月號

東洋經濟 三月一二日號

科學主義工業 三月號

經濟研究 四月號

日本重工業 //

外交時報 四月一五日號

經濟情報 四月一日號

日本重工業 四月號

インダストリー 四月五日號

日本重工業 四月號

科學主義工業 //

東洋 四月號

企業畫 第一卷第四號

科學と工業 第一三卷第五號

調査月報 第四百四號

臺灣總督府殖産局鑛務課 五月一日

臺灣の鑛業 二月一三日

最近に於ける世界鐵鋼業 第五卷第一號

獨逸鐵鋼業概觀 //

北支に於ける鑛産資源と其の經濟價值 第一百四號

英領馬來の鑛業 第八年第三號

鐵・鋼・鋼材 野村合名會社調査部

加奈陀の鑛物資源 東洋貿易研究 一二月號

金は如何にして採るか 科學主義工業 五月號

軍需として大切な特殊鋼の話 經濟マガジン //

銅の使用禁止と今後 ダイヤモンド 五月二一日號

軍需として大切な特殊鋼の話

經濟マガジン 五月號

非鐵金屬の世界的過剰と國策カルテルの恐慌對策

東洋經濟新報 五月一四日號

戰時體制下の鐵鋼政策

實業之世界社調查部 五月號

アルミニウム及其の合金

高橋本枝 工業圖書株式會社

日本採鑛法

岩崎重三 内田老鶴圃

鐵・鋼・鋼材

兒玉晋匡 ダイヤモンド社

滿洲國及北支の金鑛及砂金

小山有一郎 科學主義工業社

(新)

(聞)

飢饉の非鐵金屬

工業春秋 月刊 工業 一月二四日

鐵鋼統制協議會の設置

論 報 知 二月一三日

銅國策に就て

小野義夫 日刊 工業 五月一日

アルミ國策再検討の必要

朝 日 五月一〇日

北支鐵鑛増産計畫

五月一二日

産銅統制うらおもて(一)

五月二八、二九日

非鐵金屬開發へ

朝 日 五月二九日

二、燃料關係

題名、件名又は書名

筆者名

發行所又は誌名

發行年月日卷號

英米の石油帝國主義と各國の燃料政策

古谷謙 農業 經濟研究 一月號

燃料國策と酒精原料問題

島田晋作 産業と教育 //

燃料資源の問題と金屬工業資源の問題

小穴毅 商工經濟 //

國防經濟と燃料政策

堀内良平 工政 //

燃料國策と代用燃料車

堀内良平 工政 //

アルコール醱酵の原料

早川文明 科學主義工業 //

石炭液化

早川文明 //

國防經濟と燃料政策

小穴毅 商工經濟 //

主要工業品の原價構成に於ける石炭費調査

政治經濟研究會 日本重工業 //

本年度石油界は多事多端

橋本圭三郎 經濟研究 //

石油界の前途は多事

經濟市場 一月一日號

増産は前途遼遠(石油)

エコノミスト 一月一日號

滿洲の石油需給關係及滿洲石油會社の現狀

佐藤健三 動力 二月號

本邦炭界の現狀並に將來

古田慶三 國勢グラフィック 二月號

將來の我石炭需要

栗本勇之助 國勢グラフィック 二月號

工業原料としての石炭

栗本勇之助 産業と教育 二月號

石炭需給と炭價

栗本勇之助 産業と教育 二月號

我が國の石炭を中心としての問題

栗本勇之助 産業と教育 二月號

石炭増産強行に一元統制を要望

栗本勇之助 産業と教育 二月號

燃料アルコールの問題

遠藤一郎 動力 二月號

燃料國策と酒精原料の問題

古谷謙 農業 二月號

燃料國策と木炭バス

古谷謙 農業 二月號

北支に於ける石炭資源

栗本勇之助 企業と教育 二月號

我國の石炭を中心としての問題

栗本勇之助 企業と教育 二月號

主要工業品の原價構成に對する石炭費調査

政治經濟研究會 日本重工業 二月號

ソ聯石油業の姿

政治經濟研究會 日本重工業 二月號

現下世界石油界の根本問題

神原泰 商工經濟 三月號

最近の諸外國に於ける石炭の國家統制

古田慶三 日本重工業 五月號

日本、滿洲、北支の石炭鑛業

佐野秀之助 科學主義工業 五月號

石炭増産への支障

ダイヤモンド 三月一二日號

膠質燃料

國勢グラフィック 三月號

ソ聯石油業の姿

工學主義 四月號

揮發油及重油の消費規定に就て

高谷輝太 交通經濟 四月號

石炭飢饉と炭價の石炭界

經濟研究 五月號

石炭増産問題と統制機構の進路

森山工茂樹 日本重工業 〃

收支關係上から見たる炭材林經營の有望性に就て

朝鮮山林會報 〃

勞力不足下に於ける製炭業の經營に就て

宮下孝美 木炭 〃

昭和十二年度鮭鱒漁業界狀況

松下高 水産工業 三月號

礦油の購買券制度

福山三吉 漁業 五月號

英國の石炭液化委員會報告概要

企業 第一卷第四號

本邦の硬化油工業

工業化學雜誌 第四八三號第五册

アルコール專賣制度に就て

黒野勘六 工業 〃

現下世界石油界の根本問題

神原泰商工經濟 三月號

石炭液化

阿部吉紹 是川經濟研究所

世界の石油事情

日本石油株式會社
查課

世界石油業に於ける蘭領印度の地位

南支及南洋情報 第八年第三號

石油は有る

長谷川尚一 神戸商大商業研究所

石油は有るか

燃料國策研究會 調査部

石炭と石油

村田知也 野村合名會社調査部

英國石炭の現狀及將來

化學工業協會 三菱經濟研究所

列強と人造石油工業

伴義定 科學主義工業 五月號

フランスの石炭統制

資谷戰料 商工經濟

ガスからガソリン

科學セクション 科學主義工業

石炭統制の現段階

ダイヤモンド 五月一日號

燃料國策の遂行と影響

古田慶三 商工經濟 五月二二日號

石炭消費統制の發展

古田慶三 商工經濟 五月一日號

石炭統制と生産力擴張に就て

古田慶三 商工經濟 五月號

フランスの石炭統制

メキシコと石油問題

ソ聯邦石油事業の展望

發動機燃料としてのメタノール

國防大學シリーズ液體燃料

最新燃料大觀

石炭と石油

燃料を中心としたる露國の經濟政策並各國の燃料對策

(新)

時局と燃料

大同炭の埋藏量

燃料増産計畫進行狀況

石炭液化本格化

滿炭統制

燃料油、潤滑油の規格決定

燃料關係

竹内可吉 中日刊 一月一九日

商工省 報知 二月五日

海軍省 日刊工業 三月一八日

鐵道省 日刊工業 五月九日

倉橋藤治郎 世界知識 〃

植村癸巳男 動力 〃

W・ウイイク 〃 〃

内外資料協會 高山書院 〃

燃料協會 丸善書店 〃

村田和也 昭晃堂 〃

熱帶文化協會 〃

石炭の需給調整先づ中小工業者の爲に

工業春秋 日刊工業 五月二日

三、纖維工業關係

題名、件名又は書名

筆者名

發行所又は誌名

發行年月日卷號

人造纖維と染料

山田 英夫

工業

一月號

羊毛の資源と自給問題

田口 教一

農業と經濟

〃

山西省の紡織工業

生島 廣治郎

科學主義工業

〃

北支の羊毛

仙波 泰雄

〃

〃

支那事變と養蠶者の覺悟

明石 弘

農業

〃

銃後の養蠶經營方針を如何に定むべきか

荒井 馬次

生絲の國

〃

時局と蠶絲業

丹羽 四郎

文化農報

〃

日支蠶絲業の將來觀

長岡 哲三

蠶絲界報

〃

蠶體水分量から觀た養蠶法の眞髓

蒲生 俊興

〃

〃

安東の柞蠶

小原 龜太郎

〃

〃

戦捷下に於ける生絲の動靜

森本 國民

〃

〃

絹織物に就て

丸山 善樹

科學主義工業

〃

組合製絲に與へられたる問題

碓氷 茂

協資

〃

町村産業組合と産繭處理

〃

蠶絲界

〃

繭價構成と其の統制

野崎 清

蠶絲界報

〃

繭價協定中央審議機關の設置を望む

池下 常五郎

〃

〃

未曾有の苦惱期(紡績)

〃

エコノミスト

〃

大增産時代來る(人織)

〃

エコノミスト

〃

需給徐々に改善(人絹)

〃

エコノミスト

〃

纖維國策と人絹人織

山中 豊

ダイヤモンド

〃

人造纖維製造研究の沿革

松波 直彦

工業

〃

人造纖維と染料

山内 英夫

エコノミスト

〃

青島紡績はどこへ行く

〃

エコノミスト

〃

羊毛工業の立場から

製品内容編成替(毛織)

時局と朝鮮の綿花

棉實用途と滿洲産棉實の利用價值

原棉不足の諸摩擦

製紙・人絹・スフ原料問題

木材パルプの自給問題

パルプ増産の諸問題

大豆粕から織物

大豆の新用途人造絹毛

朝鮮に於ける苧麻栽培の過去及現在

統制蠶絲業に於ける蠶種業政策

原蠶種國家管理の實施

事變下に於ける養蠶實行組合の經營

東洋經濟 一月二十九日號

エコノミスト 一月一日號

朝鮮行政 二月號

農業の滿洲 二月一日號

ダイヤモンド 二月一日號

財政經濟時報 二月號

農業と經濟 二月一日號

ダイヤモンド 二月一日號

文化農報 二月號

米穀 二月號

農業 二月號

蠶絲業界 二月號

文化農報 二月號

文化農報 二月號

蠶種界斷感

現下の養蠶、機業地、近郊農村を診る

朝鮮の蠶絲業

繭質改善施設事業の成績

昭和十二年の桑畑統計

昭和十二年の繭産額

パルプ國策の方向

パルプ増産計畫について

パルプ増産計畫の批判

木材パルプの自給問題

木材パルプの増産と樺太材

パルプ問題への考察

パルプ問題解決法

パルプ増産の諸問題

足立美佐男 蠶絲界報 //

伊藤元治美 産業組合 //

齊藤龍庵 朝鮮行政 //

渡邊桑庵 蠶絲界報 //

西田新一 蠶絲業 //

川崎三藏 財政經濟時報 //

川崎三藏 財政經濟時報 //

正木千冬 //

三浦伊八郎 農業と經濟 //

三浦伊八郎 國勢グラフ //

貴島圭三 財政經濟時報 //

貴島圭三 財政經濟時報 //

本多靜六 //

本多靜六 ダイヤモンド //

時局と造林

中村賢太郎

山林

二月號

綿業統制の諸難點

東洋經濟

二月五日號

綿業統制初年度の成果

文藝春秋

二月二六日號

混亂の綿業統制

財政經濟時報

三月號

事變と纖維工業

科學主義工業

科學主義工業

三月號

ドイツに於けるパルプ工業と製紙業

國勢グラフ

國勢グラフ

三月號

列國に於けるパルプ需給

片倉三平

科學主義工業

三月號

パルプと其の原料

西田博太郎

科學主義工業

三月號

パルプ増産計畫とス・フ工業の將來

八木靜一郎

日本重工業

三月號

纖維工業より見たる本邦工業政策

須布美太郎

實業之日本

三月號

本邦の紡織業

須布美太郎

實業之日本

三月號

困難なる紡織品配給統制

須布美太郎

實業之日本

三月號

纖維工業情報

須布美太郎

實業之日本

三月號

時代の寵兒ステープル・ファイバ

須布美太郎

實業之日本

三月號

物語

須布美太郎

實業之日本

三月號

國策と人造絹絲

岡田元

科學主義工業

三月號

今年の我人絹工業界

岡田元

科學主義工業

三月號

羊毛工業の革命時代

岡田元

科學主義工業

三月號

綿業統制と輸出の衰退

岡田元

科學主義工業

三月號

綿業統制と其の前途

岡田元

科學主義工業

三月號

轉換の岐路に立つ

岡田元

科學主義工業

三月號

世界のパルプ事業と我國斯業の地位

岡田元

科學主義工業

三月號

パルプ資源の確保に就て

岡田元

科學主義工業

三月號

パルプ問題に關する一考察

岡田元

科學主義工業

三月號

事變下の養蠶對策に就て

岡田元

科學主義工業

三月號

米國絹業小史

岡田元

科學主義工業

三月號

優良素質蠶種の製造方法

岡田元

科學主義工業

三月號

ドイツに於ける「ブナ」パルプの製造

岡田元

科學主義工業

三月號

南洋材の輸入統制と配給問題

棉業を中心とした輸出振興策

統制強化で混亂せる綿業界

社會問題化のた綿業對策

人織需給の大勢圓滿

紡聯と綿工聯の合併問題

統制下の綿絲清算取引

パルプ増産計畫に付て

世界の人織生産狀況

ステープルファイバーと其の製品に就て

ステープルファイバーの話

人織織物染色加工上の二、三の問題

製紙界とパルプ工業

時變の影響を受けたる綿業界

舞田壽三郎

木 材

四月號

經濟研究

經濟研究

〃

經濟展望

經濟展望

〃

ダイヤモンド

ダイヤモンド

四月一日號

財政經濟時報

財政經濟時報

四月號

經濟聯盟

經濟聯盟

〃

企業畫

企業畫

第一卷第四號

朝鮮及滿洲

朝鮮及滿洲

〃

村松宗次

朝鮮及滿洲

五月號

島村芳三

商工經濟

三月號

山田廣

科學と工業

第一三卷第五號

安田銀行調査課

調査月報

第三百三號

〃

〃

第四百四號

世界之紙

世界纖維工業

北支棉花の概況

河南省の棉作

滿洲國の羊毛統制

滿洲國の綿業統制

製紙用パルプの將來

支那蠶絲業對策と生絲及繭纖維混紡問題

支那蠶絲業統制策

戰時に於ける蠶絲政策の發展

銃後蠶絲業の對策について

製紙用パルプの將來

南洋パルプ問題の可能性

ステープルファイバー

臺灣總督官房調査課

白石幸三郎

千倉書房

第五四四號

大日本紡績聯合會

月報

〃

榎本中衛

三菱經濟研究所

五月號

長谷川清三郎

科學主義工業

〃

經濟トピックス

科學主義工業

〃

三浦伊八郎

蠶絲界報

〃

池下常五郎

蠶絲界報

〃

細川幸重

〃

〃

碓氷茂

農業日本

〃

藤崎卓爾

科學主義工業

〃

三浦伊八郎

木 材

〃

岸武八

野村合名會社調査部

〃

躍進ステープルファイバー工業の現況	日本ステープルファイバー	野村合名會社調査部	
ステープルファイバー、羊毛、鹽	三菱經濟研究所	本邦財界情勢	第一一二號
印廣の手織綿布工業に關する考察	大日本紡績聯合會	月刊	第五四二號
日本紡績業と源棉問題研究	名和統一	野村合名會社調査部	
纖維工業	中原虎男		
人織工業俯瞰	人織社		
メリヤス製品並メリヤス工業に關する調査書(康徳四年)	高橋興豊	滿鐵上海事務所調査課	
綿布並に綿織物工業に關する調査書(康徳四年)	陳滿洲國產業部大臣官房資料課	三菱經濟研究所	
紡績要覽	宇野末吉	紡織雜誌社	
ステープルファイバー	内外資料協會	高山書院	
(新)	(聞)		
日本蠶絲業の運命	井上鎧三	讀賣	一月一〇日
生絲相場打診 (1)	古瀬保		一月一三日
" (2)			一月一四日
" (3)			一月一五日

十二年蠶統計	農林省	日刊工業	一月一五日
パルプ原料自給策の建議	學術振興會	日刊工業	一月二八日
ス・フの再検討	厚木勝基	日刊	一月一九日
北海道に於ける亞麻増産計畫	農林省	日刊	二月一日
一月の生絲消費		讀賣	二月一八日
生絲買上要綱發表		讀賣	二月二二日
パルプ資材の増産計畫案成る		日刊工業	二月一八日
パルプ配給統制方法には慎重なれ	工業省	日刊工業	二月二三日
ス・フの性能詳細發表	商工省	中外	三月一二日
今年の養蠶業對策	社説	中外	三月一三日
事變下國策、蠶絲業に新使命	有馬頼寧	中外	三月一五日
綿業統制再建の急務	社説	中外	四月三日
羊毛クレジット日濠協定		日刊	四月一〇日
日支蠶業調整案		日刊	五月一日

乾燥不良米の貯藏と温度との關係	近藤萬太郎	米穀	日本	三月號
戰時水産食糧と冷凍	栗屋良馬	水産	公論	〃
重要米穀統計及彙報	農林省米穀局	米穀	日本	四月號
大麥、裸麥の無砂搗精法に就て	二瓶貞一	農	業	〃
白米に代るべき食用米に就て	丸本彰造	農	業	日本
米穀の新規利用に就て	對島彌作	米	の	友
非常時局と食糧	彌江生之	岐阜縣農會報		〃
水稻二期作地帯に於ける肥料問題の展望	梶原千治	農	業	と
時局下の食糧配給問題	森武夫	糧	友	〃
食糧問題の二・三に就て	〃	村		〃
飼料用及罐詰用玉蜀黍の生産	前田源吉	農	業	〃
食糧配給組織の時局對策	福田敬太郎	糧	友	〃
北滿移民の養鷄對策私見	大久保徳五郎	農	業	の
支那海外に於ける漁業の開發策	越田徳次郎	水	産	界
漁業の現勢と水産科學の役割	中井信隆	〃		〃

鱈漁業と鱈加工

朝鮮鰯漁業の現段階

英領馬來の米穀調査

世界大戰當時の英國食糧政策

統制經濟下に於ける米穀政策

内地に於ける日本人の食政

飼料用及罐詰用玉蜀黍の生産

長期戦下の食糧問題

戰時食料政策

小麥粉並製粉工業に關する調査書 (康徳四年)

世界各國の食糧政策

臺灣米穀要覽

滿洲に於ける小麥粉

米生産費に關する調査

糖業便覽

食糧關係

柿沼亮	水産公論	〃	〃	〃
東都閑人	朝鮮公論	〃	〃	〃
吉武昌男	糧食研究	〃	〃	五月號
八木澤善次	協和	〃	〃	〃
柏村保	食養	〃	〃	〃
前田源吉	農	業	と	經濟
滿川元親	農業と經濟	〃	〃	〃
森武夫	帝國農會報	〃	〃	〃
始關伊、平本山勝次、近藤勝	滿鐵上海事務所調査課	〃	〃	〃
農林省米穀局	日本米穀協會	〃	〃	〃
滿洲輸入組合聯合會	臺灣總督府殖産局	〃	〃	〃
	神戸商大商業研究所	〃	〃	〃
	帝國農會	〃	〃	〃
	製糖研究會	〃	〃	〃

(新)

(聞)

鮮米實收と移出力 菱本長次 中 外 二月一日
 臺灣移出米數量調 拓務省 〃 〃 二月一日
 二月末鮮米移出 〃 〃 〃 二月二四日

五、機械・化學工業關係

題名、件名又は書名	筆者、氏名	發行所又は誌名	發行年月日卷號
北支の工業	大河内正敏	科學主義工業	一月號
北支に於ける化學工業の建設策	北島三省	〃	〃
最近のソ聯工業の状態	岡田正雄	滿鐵調査月報	〃
ドイツ國に於ける工業及手工業	小島精一	統計集誌	第六七八號
ドイツ工業全國組合のカルテル自治統制	景山哲夫	日本重工業	一月號
混沌たる護謨市場の前途	古瀬傳藏	經濟情報	一月二一日號
軍需産業と農村工業	〃	農政研究	一月號

農村機械工業とは何か	齋藤榮一	農村工業	〃
新局面の展開と農村工業	助川啓四郎	〃	〃
工業報告と持場の完成	蒲生俊文	産業福利	〃
時局と日本の工業	井上卓藏	工業政	〃
日支事變と雜貨工業の動向	吉山眞棹	〃	〃
時局と中小工業對策	小島新一	産業組合	〃
戰時體制下の中小工業	片山謙三	日本重工業	〃
事變下輸出貿易と中小工業	〃	財政經濟時報	〃
重工業の生産力擴充	中山	ダイヤモンド	一月二五號
大陸重工業の建設と内地産業界	〃	日本重工業	〃
時局の發展性と重工業者の覺悟	小島精一	〃	〃
重工業擴充政策に就て	目崎憲司	商工經濟	〃
生産力擴大と重工業化	〃	經濟研究	〃
機械工業と生産費	大河内正敏	農村工業	〃
生産擴充への邁進(機械工業)	〃	エコノミスト	一月二日號

轉換期の紡織機械工業	長文連	日本重工業	一月二五號
航空工業の擴充に就て	小松茂	交通經濟	一月號
依然として多忙(造船)		エコノミスト	一月一日號
輕工業と日本の行方		ダイヤモンド	〃
輕工業の好調と停滯		經濟研究	一月號
ゴム工業の立場から		東洋經濟	〃
戰爭と化學工業	中野有禮	中央公論	〃
前途は尙多忙(曹達)		エコノミスト	一月一日號
航空工業の擴充に就て	小松茂	交通經濟	一月號
國際ゴム限産協定の實績		國勢グラフ	二月號
北支工業の現状及將來	小林幾次郎	商工經濟	〃
工業資源と其の代用	安東赫	朝鮮行政	〃
工業動員と農村工業		産業組合時報	〃
地方工業化の將來		〃	〃
農村工業とは何か		〃	〃

戰時體制下の中小工業	大河内正敏	日本重工業	〃
支那事變の中小工業に及ぼせる影響	西本計三	商工經濟	〃
資本主義工業と科學主義工業	長谷川健一	科學主義工業	〃
朝鮮商工業の回顧と展望	杉本正雄	朝鮮行政	〃
戰時下の工業政策		科學主義工業	〃
鑛業から見た工業政策	下光太郎	工業	〃
化學工業から見た工業政策	波多野貞夫	工業	〃
機械工業より觀たる工業政策其の他の發展策	山中篤太郎	工業	〃
我國工業政策の變遷	増地庸治郎	工業	〃
工業の科學的經營		經濟展望	〃
新局面に臨む機械工業界		日本重工業	〃
機械工業の擴充問題		東洋經濟	〃
躍進する理研壓延工業		エコノミスト	二月一日號
代替品工業の問題		國勢グラフ	二月號
最近の我染料需給狀況			

我が染料工業に對する支那事變の影響

原田石四郎 東洋經濟 三月五日號

染料工業と支那事變の影響

〃 〃 〃 三月二二日號

輕工業生産指數轉落す

〃 〃 〃 〃

戰爭と窒素工業

科學主義工業 二月號

製粉業の北支進出愈々實現せん

經濟研究 〃

硫安政策の轉換と増産法案

ダイヤモンド 二月一日號

最近の獨逸化學工業界

工 政 三月號

最近に於ける農村工業の動向に就て

吉仲禮武之 現代農業 四月二日號

農村工業界の地方狀勢

石山賢吾 農村工業 三月號

大河内博士と農村工業

〃 〃 〃

事變に伴ふ農村勞力の不足と農村工業運動の前途

渡邊信一 〃 〃 〃

機械工業再出發論

井村荒喜 日本重工業 〃

我が機械工業の現段階

森山茂五樹 〃 〃 〃

九州重工業の現在及將來

田中定 〃 〃 〃

工作機械の國家經濟的重要性

ジエームス・エ・ラビット 工本重工政 〃

紡機製造の強味

經濟展望 〃

機械類生産額の激増

ダイヤモンド 三月二二日號

發展途上に立つ朝鮮重化學工業の展望

日本重工業 〃 〃 〃

輕工業生産指數續いて著減

東洋經濟 三月一二日號

輸出入均衡に對する化學工業の負擔

鴨居武 工 政 三月號

支那重工業市場の擴大性

日本重工業 四月號

重工業滿洲の展望

〃 〃 〃

最近の獨逸化學工業界

工 政 〃

フランス重工業カルテルの話

加瀬三郎 商工經濟 〃

國營航空機工業の業績

外國の新聞と雜誌 四月二〇日號

日本重工業の國際的位置と其の向上策

日本重工業 四月號

我國機械工業の現況と將來

經濟情報 〃

發展力豊なる機械工業

古屋了 財政經濟時報 〃

工作機械工業合同論

藤井政一 東洋經濟 四月二日號

本邦航空機工業の現況

内山直 エコノミスト 四月二二日號

化學戰と工業鹽

これから發展する新らしい化學工業
輸出入均衡に對する化學工業の負
戰時體制下に於ける農村工業の動
向

山東省に於ける農村工業の概況

農村工業の經營に就て

農村工業の技術と意匠

農村機械工業とは何か

副業生産品商況調査

海水から採るマグネシウム

歐米に於る輕質液體燃料工業の近
況

石油工業の進歩

重工業原料の制限

戰時工業原料の統制

世界機械工業の現勢

北野清秀

科學主義工業

四月號

鴨居武

インダストリ

四月五日號

見坊兼光

實益農業

四月號

簡野博志

農村工業

〃

本位田祥男

斯國の農村工業

〃

野村茂治

農村工業

〃

齊藤榮一

農務時報

〃

〃

農務時報

〃

〃

經濟マガジン

五月號

黒澤武雄

燃料協會誌

〃

田中芳雄

學術振興

〃

〃

エコノミスト

五月十一日號

森武夫

工業國策

五月號

〃

本邦財界情勢

〃

アルミニウム工業

鹽素工業の進歩

滿洲重工業の將來性

技術資源を活動せる鹽素工業の進
歩

代用品の必要と合成化學の將來

佛國の軍需品工業國有法

伊太利の化學工業

滿洲に於けるカーバイト工業に
就て

滿洲國工業機構の現勢

食鹽及アルカリ工業

各國の航空機製造工業に就て

山西省の工業發展

ソヴェエツトの重工業

ソ聯スパイの調べ上げたる日本化
學工業界の内情

工業材料便覽

長野精一

科學と工業

〃

磯村正巳

經濟マガジン

〃

磯村正巳

エコノミスト

五月一日號

厚木勝基

經濟マガジン

五月號

〃

科學畫報

〃

企

科學と工業

第一卷第四號

科學と工業

實務資料月報

第一三卷第五號

滿洲電業株式會社總
務部調査課

三菱經濟研究所

第三卷第三號

東洋協會調査部

臺灣總督府調査課

〃

日本興業銀行調査課

調查月報三月號

〃

生島廣次郎

神戸商大

〃

小島精一

千倉書房

〃

水島齋

國際思想研究所

〃

材料研究會

常磐書房

〃

其他

機械工學便覽

日産進出と滿洲重工業問題

化學工業經營

獨乙工業の趨勢

(新)

工業動員法愈發動す

工業生産新記録

機械學會

日本外交協會

千倉書房

經濟研究會

社説

朝日

一月一八日

商工大臣官房統計課

日刊工業

一月一九日

六、其他

題名、件名又は書名

筆者名

發行所又は誌名

發行年月日卷號

苹果的栽培

須佐寅三郎

農業

一月號

果實特産品の研究

須佐寅三郎

農業及園藝

一月號

促成蔬菜に發生する主なる害虫の驅除法

須佐寅三郎

文化農報

一月號

飼料の話

石川久雄

文化農報

一月號

脱脂した米糖は家畜飼料に適す

松本源

山村

〃

本邦産魚油の利用に就て

大豆粕から織物

茶樹の取木繁殖

綠肥ルビーの栽培に就て

菠薐草の品種と其の研究

最近の養鶏と飼料問題

朝鮮に於ける苧麻栽培の過去及現在

朝鮮の苹果出荷検査

本邦主要農作物病害の被害の沿革竝に防除の状況

飼料に就て

牛の飼料に蠶沙

緬羊の飼ひ方

飛躍すべき捕鯨業

魚皮の利用鞣製法

其他

由良利太郎

〃

〃

太田康治

水産公論

〃

古谷春吉

〃

〃

石川久雄

文化農報

〃

下藏梅之亟

農業

〃

白幡喜一

農業の滿洲

〃

和田滋穂

農業

〃

松田延一

農業と經濟

〃

左氏良志

文化農報

〃

相良長輝

〃

〃

北村茂馬

農業

〃

松本源

文化農報

二月號

時局と造林

支那水産事情の調査

海外木材界

海外林業界

物的資源總動員と造林國策

本邦に於ける海藻の工業的價值

吾國工業鹽の將來

農村振興策として副業養畜獎勵の急務

農山村の副業細羊の飼ひ方

飼料の話

畜産界の新説を探る

朝鮮の水産業

海外水産トピック

プリストル灣出漁に對する感想

鯨油と人造バター製造業

中村賢太郎

永田龍之助

藤林誠

白澤保美

高橋武雄

北野清秀

大塚俊雄

古谷春吉

石川久雄

翠松學人

M

大島幸吉

岡本清造

山 林 二月號

國勢グラフ 三月號

山 林

工 政

科學主義工業

朝鮮農會報

文化と農報

國勢グラフ

水産公論

水産公論

水産公論

水産公論

水産公論

水産公論

水産公論

新興鯨皮革工業の検討

凍魚の需給狀況

戰時體制下の林業界への要望

戰時體制下の林業及木材業

本邦に於けるコルクの利用と發達

コルク原料の需給

内地材を以て輸入材に代へ得るか

奔騰を續ける木材

森林害虫としての虫癭

毬果濫採に依るカラマツ母樹の被害

北支進出の製粉界

吾國工業鹽の將來

本邦ソーダ工業は今日の隆盛を如何に招來したか

蒙古人の農業

日滿支の農業統制策私見

蘭田良策

安部小次郎

鍋木徳二

島田錦藏

内山勇三

八坂雅二

泉岩太

門前弘多

尾越豊

北野清秀

庄司務

平野蕃

水産公論

水産公論

朝鮮山林會報

林業經濟政策資料

山 林

山 林

山 林

山 林

山 林

山 林

山 林

山 林

山 林

山 林

山 林

ドイツの魚皮類加工業

海外經濟事情 四月號

本邦家内工業の現状と其の新生面

伊藤俊雄 工務調査日誌 //

軍需工業の生産力

丸山政彦 農學主義工業 四月二日號

工業用甘藷の増産に就て

近藤次郎彦 産業組合 //

我國の飼料對策に就て

木村靖二 帝國農會報 //

戰時下に於ける飼料問題

宮坂梧朗 農業と經濟 //

歐洲諸國に於ける家畜小作制の概要

東洋經濟 //

畜産資源の確保策

岡本清造 水産公論 //

鯨油と人造バター製造業

漆山雅喜 山林 //

帝國森林會提案の國策造林會社に就て

鈴木覺四郎 //

事變下の山林竝林業管見

植村恆三郎 //

獨逸ナチス林業の行方

森小三郎 鳥取縣山林會 //

滿洲の林業情景

三木泰治 農業 五月號

本邦最近に於ける潤葉樹利用の趨勢

米國農事機關の園藝的活動に就て

北支中支の經營開發とセメント

永井彰一郎 科學主義工業 //

ゴム生産制限更新と新協定案の内容

諸井桃二 工業國策 //

セメント製造業の國家統制

横倉重利 實益農業 五月號

山岳農業とその經營について

川崎一郎 村 //

硫安問題の解決

入鹿山成樹 臺灣農事報 //

臺灣に於ける農業經營に就て

岡田溫宮 城農報 //

東北農業に就て

三輪孝 現代農業 //

支那農業概觀

内田寛一 社會教育 //

農業より大觀したる北支、中支

山崎靖純 評論 //

日滿支の農業政策私見

小濱八彌 文化農報 //

硫安の増産と配給統制

平松高養 //

桑園の合理的經營

阪本日郎 農業と經濟 //

戰後に於ける農業經營と政策

大槻正男 //

東北農業の雪害と其の對策

其他

最近の肥料統制問題	須郷力三	農業と經濟	五月號
戰時に於る農業經營	石橋幸雄	帝國農會報	〃
戰時肥料政策	石井英之助	〃	〃
戰時の馬糧乾燥調製法	馬政局	肥料研究會	〃
農村工業としての罐詰加工	石井磐根	産業組合	〃
世界に氣を吐く日本の農村工業	江古田三郎	現會代	〃
農村工業としてのホームズパン	田口教一	農村工業	〃
銃後の農村對策に就て	青鹿四郎	産業と教育	〃
戰時飼料問題の展望	江田春三	産業組合	〃
農業生産の要素	宮澤文吾	静岡縣農會	〃
銃後に於ける家畜衛生	布村繁	實益農業	〃
戰時體制下の漁業指導と漁業組合	森平茂兵衛	帝	〃
時變下の漁村振興策	帝國水産會	〃	〃
内水面漁業の將來に於ける方策	日暮忠	水産界	〃
北洋漁業の地位と經營形態問題	池田善良	〃	〃

鱈漁業と鱈加工	柿沼亮	水産公論	〃
軍需農林水産物の供出	笹山茂太郎	〃	〃
獨逸ナチス林業の行方	植村恒三郎	山林	〃
南洋材の輸入制限と代用材問題	〃	〃	〃
統制下に於ける南洋材に就て	吉田好彰	林業經濟	〃
南洋材需給と最近の輸入許可量	武市昇太郎	山	〃
事變下の山林竝林業管見	鈴木覺四郎	〃	〃
南支及南洋の糖業	臺灣總督府殖産局	東亞經濟調查局	〃
事變と製材及木製品工業	安田銀行調査課	調査時報	第百二號
北支五省電氣事業	滿洲電業株式會社	調査資料	第八輯
上海電氣事業概要	〃	實務資料月報	第三卷第二號
舊東北鐵道を中心とする北滿大豆	滿鐵北滿經濟研究所	北經調查刊行書	第三號
人造肥料工業	庄田務	共立社	〃
合成ゴム	〃	工業化學會	〃
北支工業の現状及將來	東京商工會議所	商工經濟	二月號

其他

滿洲に於ける染料

滿洲工業機構の現勢

纖維素より砂糖又は酒精を製出する方法竝に歐洲に於ける最近の酒精工業に就て

本邦護謨工業概況

戰時議會下の肥料問題

戰時下に於ける肥料問題

英領馬來の農業及畜産業

倉庫貨物一月分二月分

對支農村工作の基調

最近肥料問題

時局下に於る本邦農村の狀況と其將來

植民地農事

滿洲農業と農業機械化

滿洲輸入組合聯合會

東洋協會

シヨウウライ

日本興業銀行調査課

島田日出夫

木村靖二

臺灣總督官房外事課

橋本傳右衛門

佐藤寛次

那須三皓

伊藤兆司

神戶商大商業研究所

野村合名會社調査部

調查月報

帝國農會報

南支南洋

日本銀行調査局

神戶商大商業研究所

三井合名會社調査部

野村證券會社調査部

叢文閣

農業と機械社

一一六

三月號

四月號

第二八卷第四號

四月號

北支農業政策大綱

副業及農村工業相談

事變と農村

日ソ漁業條約の檢討

事變下の中小商工業の現狀と對策

近代戰爭の森林

海外木材界

石井實雄

大山彦二

有馬頼寧

三枝文雄

淵通義

永田龍之助

又新俱樂部

賢文館

橋書店

事業之世界調査部

東京商工會議所

雄生閣

三月號

其他

一一七

關係法令 (法律)

漁業法中改正	法律 第三號	一三年三月	官報	五四一頁
產業組合中央金庫法中改正	一四	一八	五四一	
產業組合自治監査法	一五	一八	五四三	
商店法	一八	二六	七九四	
石油資源開發法	三一	二八	八五七	
重要礦物増産法	三五	二九	八九〇	
日本産金株式會社法中改正	三六	二九	八九二	
商業組合法中改正	三七	二九	八九四	
東洋拓植株式會社法中改正	三八	二九	八九八	
飼料配給統制法	三九	三〇	九五三	
工作機械製造事業法	四〇	三〇	九五三	
航空機製造事業法	四一	三〇	九五五	
國家總動員法	四五	四一	一	

恩給金庫法

庶民金庫法

不動産融資及損失補償中改正

産業組合中央金庫特別融通及損失法中改正

農地調整法

農業保險法

臨時農村負債處理法

硫酸アンモニヤ増産及配給統制法

商法中改正

商法中改正法律施行法

有限會社法

電力管理法

日本發送電株式會社法

電力管理ニ伴フ社債處理ニ關スル件

電氣事業法中改正

北支那開發株式會社法

恩給金庫法	五七	一	二四
庶民金庫法	五八	一	二七
不動産融資及損失補償中改正	六五	一	六八
産業組合中央金庫特別融通及損失法中改正	六六	一	一八
農地調整法	六七	二	一四五
農業保險法	六八	二	一四七
臨時農村負債處理法	六九	二	一五一
硫酸アンモニヤ増産及配給統制法	七〇	二	一五二
商法中改正	七二	二	二四一
商法中改正法律施行法	七三	二	二七〇
有限會社法	七四	二	二七四
電力管理法	七六	二	三〇五
日本發送電株式會社法	七七	二	三〇六
電力管理ニ伴フ社債處理ニ關スル件	七八	二	三〇八
電氣事業法中改正	七九	二	三〇九
北支那開發株式會社法	八一	三	一〇三七

中支那振興株式會社法	法律	八二		二〇三九
昭和十二年法律第九十二號(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)中改正	〃	八五	五・二五	七七三
人造石油製造事業法施行令	勅令	第四〇號	一三・一・二四	五四一
人造石油製造事業法施行令	〃	四一	二四	五四一
液體燃料委員會官制	〃	四二	二四	五四二
石油事業法中施行令中改正	〃	四三	二四	五四二
人造石油製造事業法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件	〃	四四	二四	五四二
人造石油製造事業法ノ一部ヲ臺灣ニ施行スルノ件	〃	四五	二四	五四三
人造石油製造事業法ノ一部ヲ樺太ニ施行スルノ件	〃	四六	二四	五四三
日本銀行金買入法廢止ニ關スル法律施行期日	〃	五一	二九	六九八
關東州ニ於ケル金ノ管理ニ關スル件	〃	六七	二・二	四
產金法ノ一部ヲ樺太ニ施行スルノ件	〃	六八	三一	四
米穀自治管理委員會官制中改正	〃	八六	二二	六二五
漁船再保險審査會規程	〃	一〇五	三・八	二二一
森林火災國營保險審査會規程	〃	一〇六	八	二二二

中小商工業融資再保償審査會規程	〃	一〇七		三〇五
肥料依頼検査手数料令	〃	一一二	一一	三三七
金銀地金精製及品位證明規則中改正	〃	一一七	一六	四七八
米穀利用研究所官制	〃	一一九	二一七	五〇九
自作農創設維持委員會官制	〃	一二六	一一二	六三六
機械工養成所官制	〃	一六三	三一	一〇三七
産業組合中央金庫法中改正法律ノ一部施行期日	〃	二七四	三三	一〇四〇
物價委員會令	〃	二七六	四・二二	八四七
揮發油アルコール混用法施行期日	〃	二八二	二三	八七八
揮發油アルコール混用法ヲ臺灣ニ施行スルノ件	〃	二八三	二三	八七八
揮發油アルコール混用法施行令	〃	二八四	二三	八七八
恩給金庫法施行期日	〃	三〇五	三〇	一〇四二
恩給金庫ノ設立ニ關スル件	〃	三〇六	五・三〇	一〇四二
電力管理準備局官制	〃	三二〇	五・一六	一一二九
臨時物資調整局官制	〃	三三四	一九	一一二七
金銀地金精製及品位證明規則中改正	〃	三三六	一九	一一二八

商業組合法中改正法律施行期日	勅令	三三一	一四	四〇五
商業組合中央會設立ニ關スル件	〃	三三二	一四	四〇六
北支那開發株式會社及中支那振興株式會社政府出資財産評價委員會官制	〃	三三五	一八	五〇二
庶民金庫法施行期日	〃	三五九	一九	五六五
關東州漁業令	〃	三六三	二四	七四一
電力管理法ノ一部施行期日	〃	三六四	二四	七四四
臨時電力調査會官制廢止	〃	三六五	二四	七四五
需給調整協議會令	〃	三六六	二五	七七三
電氣委員會官制中改正	〃	三六八	二五	七七五
電力審議會官制	〃	三六九	二五	七七五
(省令)				
人造石油製造事業法施行規則	商工省令	第一號	一三・一・二四	五四三
製絲業法施行規則中改正	農林省令	一三	二・一五	一九三
輸出入植物取締法施行規則中改正	〃	一四	一〇	三四九
綿製品ステール・ファイバー等混用規則中改正	商工省令	一四	一〇	三四九
纖維工業設備ニ關スル件	〃	一五	一二	三八一

森林火災國營保險審查會規程施行規則	農林省令	一五	三・一八	二二三
漁船再保險審查會規程施行規則	〃	一六	一八	二二三
肥料依賴検査規則	〃	一七	一一	三三八
水産食料品供給確保施設補助規則	〃	一八	一六	八〇八
重要物産種類指定中改正	農林省令	二	一九	九一一
綿絲配給統制規則	商工省令	六	一	八六一
重要輸出品取締法施行規則中改正	〃	七	二	六三四
揮發油及重油販賣取締規則	〃	八	七	一七七
優良自動車部分品及自動車材料認定規則	〃	九	一一	三三九
臨時輸出入許可規則中改正	〃	一〇	二三	六六九
産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則中改正	農林省令	一九	四・一	二七一
種牡蠣ノ輸出統制ニ關スル件	〃	一〇	四	二一五
輸出水産物檢閲規則中改正	〃	一一	四	二一五
獸醫師試驗規則	〃	一二	二〇	七五二
機械工養成所規程	商工省令	一三	二	八七二
輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件ニ依ル職務執行ノ證票ニ關スル件	〃	一四	九	四三七

鑛業警察規則其ノ他鑛業警察ニ關スル命令ノ規定ニ依ル係員ノ資格ノ特例ニ關スル件

商工省令 一五 一三 五六二

地方物價委員會規則

農林省令 一六 二三 八四八

揮發油及アルコール混用法施行規則

農林省令 一七 二三 八八二

銅使用制限規則改正

農林省令 一八 二三 八八四

銑鐵鑄物ノ製造制限ニ關スル件

農林省令 一九 二五 九一〇

飼料自給獎勵規則

農林省令 二〇 二五 二四九

畜産共同施設獎勵規則中改正

農林省令 二一 二五 二四九

機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則中改正

農林省令 二二 二五 二五〇

馬生産率増進施設獎勵規則等

農林省令 二三 二五 二五〇

木炭瓦斯發生裝置設置獎勵規則中改正

農林省令 二四 二五 二五〇

造林獎勵規則中改正

農林省令 二五 二五 二五〇

輸出生絲検査法施行規則中改正

農林省令 二六 二五 二五〇

生絲検査所検査及鑑定規則中改正

農林省令 二七 二五 二五〇

商業組合法施行規則中改正

商工省令 二八 二五 二五〇

綿製品ステープル・ファイバー等混用規則中改正

商工省令 二九 二五 二五〇

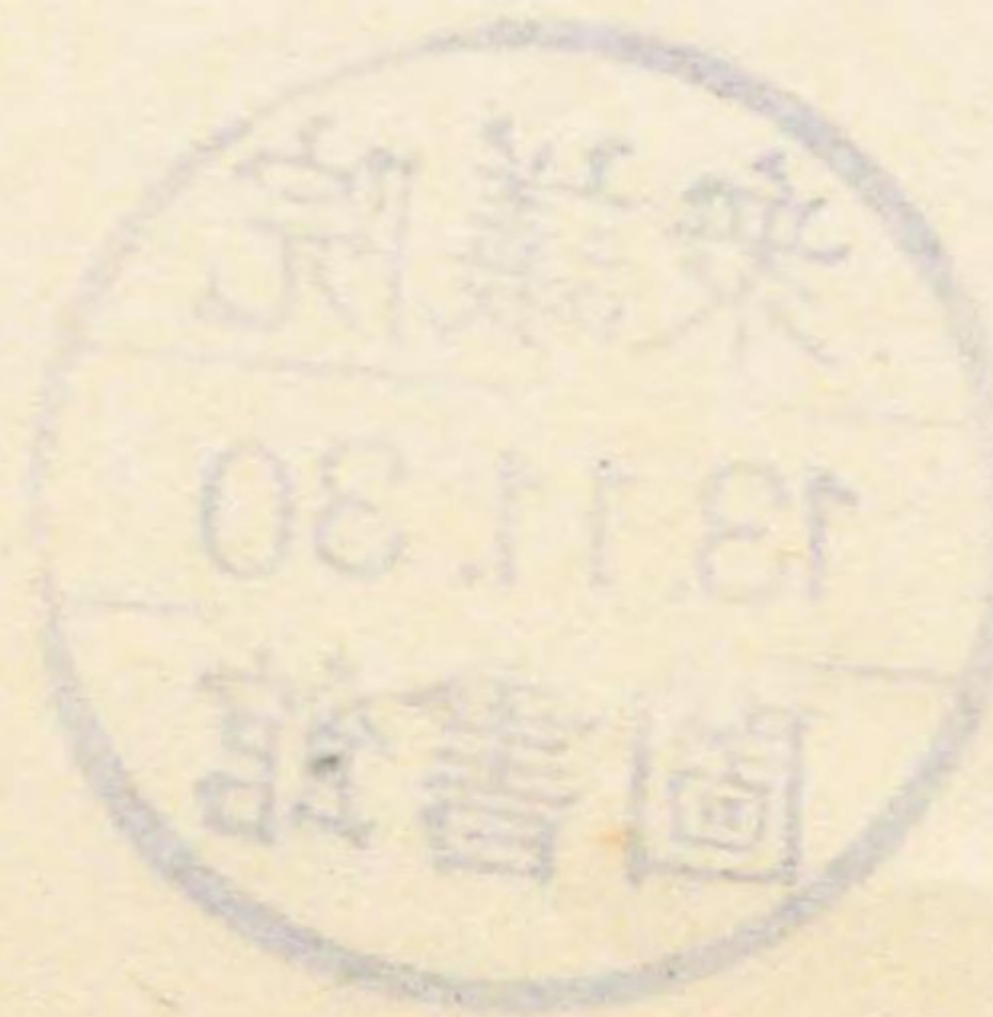
綿絲販賣價格取締規則

商工省令 三〇 二五 二五〇

採鑛獎勵金交付規則改正
需給調整協議會規則

農林省令 二五 二四 七四六
農林省令 二六 二五 七七七

0130
33
0811A



0310

33

41439

新編臺灣省志卷之五

新編臺灣省志卷之五

二五

二六

二四

二五

二四六

二四七



